



2017年度（平成29年度）日本財団申請事業
（海と日本 PROJECT 2017 サポートプログラム）

平成29年度
「海学び舎」あらかると啓発事業

報告書

平成29年12月

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会 委員会名簿

(順不動・敬称略)

委員長	(公社)大阪港振興協会事務局長	有田正文
副委員長	(一社)神戸港振興協会専務理事	片山昌俊
委員	近畿旅客船協会 事務局長	森木正文
委員	神戸旅客船協会専務理事	山西哲司
委員	近畿内航船員対策協議会事務局長	香川幹夫
委員	大阪市港湾局営業推進室開発調整課長	上溝憲郎
委員	神戸市みなと総局みなと振興部振興課長	横山和人
委員	大阪市港区役所教育担当課長	花立都世司
委員	(株)ラジオ関西編成営業部	桜井慎介
委員	(公財)関西交通経済研究センター常務理事	土井眞三
オブザーバー	近畿運輸局海事振興部旅客課長	辻野 晃
オブザーバー	神戸運輸監理部海事振興部旅客課長	岡本英明
事務局	(公財)関西交通経済研究センター	

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会 大阪分科会

(順不動・敬称略)

分科会長	(公社)大阪港振興協会事務局長	有田正文
委員	大阪市立港晴小学校教頭	小川 步
委員	大阪市立築港小学校教頭	河田靖美
委員	大阪市立弁天小学校教頭	片岡幹雄
委員	近畿旅客船協会事務局長	森木正文
委員	近畿内航船員対策協議会事務局長	香川幹夫
委員	大阪市港湾局営業推進室開発調整課係長	金光尚美
委員	大阪市港区役所教育担当課長	花立都世司
委員	(株)ラジオ関西編成営業局	栃尾健太
委員	(株)神戸新聞事業社 営業3部	福田幸司
委員	大阪水上バス(株)取締役	大江幸弘
委員	近畿運輸局海事振興部旅客課長	辻野 晃
委員	(公財)関西交通経済研究センター常務理事	土井眞三

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会 神戸分科会

(順不動・敬称略)

分科会長	(一社)神戸港振興協会専務理事	片山昌俊
委員	神戸市立大池小学校校長	中本鋼志
委員	神戸市立長田小学校校長	山川寿夫
委員	(一社)神戸港振興協会参事	森田 潔
委員	(一社)神戸港振興協会主査	広岡茂裕
委員	神戸旅客船協会専務理事	山西哲司
委員	神戸市みなと総局みなと振興部振興課長	横山和人
委員	南あわじ市教育委員会事務局 学校教育課長	山川直樹
委員	(株)ラジオ関西編成営業局	栃尾健太
委員	(株)神戸新聞事業社 営業3部	福田幸司
委員	神戸ベイクルーズ(株)営業部	平嶋隆一
委員	神戸運輸監理部海事振興部旅客課長	岡本英明
委員	(公財)関西交通経済研究センター常務理事	土井眞三

目 次

I. 海・船のお話会と海の環境学習や体験型見学会

1. 実施概要	1
2. 参加小学校及び参加者数	4
3. 大阪港実施状況写真	5
4. アンケート結果	10
5. 講演録	13
6. 準備資料	31
①募集チラシ	
②参加者スタッフ着用帽子	
③当日のしおり（プログラム）	
④天保山船客ターミナル座席図	
⑤海遊館ホール座席図	
⑥サンタマリア見学要領	
⑦サンタマリア見学順路	
⑧サンタマリア探検問題（5年生用・6年生用）	

II. 神戸市、南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会

1. 実施概要	40
2. 参加小学校及び参加者数	43
3. 神戸港実施状況写真	44
4. アンケート結果	48
5. 交流学習会	51
6. 準備資料	60
①募集チラシ	
②参加者・スタッグ着用帽子	
③当日のしおり（プログラム）	
④移動ルート	
⑤ロイヤルプリンセス号船内配席図	
⑥神戸海洋博物館ホール内配席図	
⑦神戸海洋博物館見学時問題集	
⑧交流学習会〇×クイズ問題（解答）	

Ⅲ. 実行委員会等開催状況	66
①第1回実行委員会	69
②第2回実行委員会	70
③第1回大阪分科会	71
④第2回大阪分科会	72
⑤第1回神戸分科会	73
⑥第2回神戸分科会	74
Ⅳ. マスメディア記事	75
Ⅵ. 絵手紙 (別紙)	

I. 海と日本プロジェクト

海・船のお話会と海の世界学習や体験型見学会

1. 実施概要

海洋国日本の国づくりや街おこしを担う、次世代の小学生の皆さんに、海の大切さと海の魅力を知ってもらい、海の恩恵に感謝し、併せて、広く海洋についての理解と関心を深めてもらうことを目的に、大阪港を拠点として、小学生高学年を対象に、大阪港を含めた海洋生物の生態系、絶滅品種などの学習を通して海洋環境の大切さを学び、また、普段見ることができない旅客船船内の見学、船員さんの仕事の役割や重要性などの学習、そして、海から見る、いつもとは違う目線から大阪港や沿岸の街並みなどを体感する「海・船のお話会と海の世界学習や体験型見学会」を開催した。

- ・実施場所 大阪港内及び天保山船客ターミナル、海遊館ホール
- ・実施日時 平成29年6月29日（木） 08:30～15:30
- ・参加者 196名（スタッフ、教師を除く）

大阪市立港晴小学校	5年生	35名
大阪市立築港小学校	5年生	40名
大阪市立築港小学校	6年生	32名
大阪市立弁天小学校	5年生	89名

(1) サンタマリアの船内見学（10:00～11:00）

- ① 通常の定期便の出港前約1時間、見学会のために特別に貸し切り、船内で体験型の見学会を実施した。参加児童は学校毎に5グループに分かれ、船内5カ所のポイントを巡って、サンタマリア号の乗組員指導による児童向けの体験型プログラムを体験した。



- ② 船内での体験型プログラムは以下の5体験を参加者全員体験した。

- ・船長講話
(操船する人々の仕事の内容や役割、大阪港を出入りする船の種類や役割など)
- ・ロープワーク体験
(もやい結びなど、基本的なロープの結び方の体験)
- ・救命胴衣の着用体験
(救命胴衣の着用の仕方、役割、特徴、着用時の飛び込み方などを解説し、二人一組で着用体験)
- ・船内探検
(4層に分かれる船内を、乗組員の解説の下、見学して回る)
- ・手旗信号体験
(紅白の手旗を持ち、コミュニケーション方法を体験)



(2) サンタマリアに乗って大阪港内クルーズ体験（11:00～11:45）

- ① 天保山岸壁を出港した船は、一旦安治川を遡上。安治川右岸にはユニバーサルスタジオジャパンがあり、参加児童の多くは、水上から垣間見えた園内のアトラクションに歓声を上げていた。
- ② 船はその後反転し安治川を下る際には、大小様々な貨物船、旅客船とすれ違い、間近に港で働く船を観察することが出来た。
- ③ その後、咲洲のコンテナ埠頭横を航行した際には、ガントリークレーンでコンテナを次々に船に積み込むシーンに、間近に接することが出来た。
- ④ 生憎一時少雨に見舞われる時間帯もあったが、出港後は心地よい潮風を肌を感じながら、参加児童は船内クイズラリーを思い思いに楽しみ、眼前に広がる海や行き交う船、海から見るいつもとは違う目線からの大阪港や沿岸の街並みに目を輝かせていた。



(3) 参加各校学校紹介（12:30～12:45）

今回初めての試みとして、参加児童がそれぞれの学校について知り、交流を深めることを目的に、学校紹介を実施した。

模造紙にイラストを描き込んで学校の特徴を上手に示したり、複数人で登壇してマイクを回して役割を決めて発表したり、それぞれ趣向を凝らして面白く、楽しい学校紹介となった。



(4) 海洋学習の実施（12:45～13:15）

- ・会場：天保山船客ターミナル会議室
- ・テーマ：海の大切さと船員の仕事
- ・講師：近畿内航船員対策協議会 会長 上窪 良和 氏

- ① かつて30万トン級の大型外航貨物船の船長を務められた上窪講師に「海の大切さと船員の仕事」と題して講演を頂いた。
- ② 冒頭、海に囲まれた日本は外国との交易によって成り立っていることを強調され、輸入（重量ベース）の約99.7パーセントが船によってなされ、残りの約0.3パーセントが飛行機によるお話があり、そして、日本の輸入品（重量ベース）の上位6種は何だろうと参加児童に問い掛けるなどして話が進んでいきました。



児童からは、問いに対して積極的に手が挙がり、自分達の思う答えが次から次に出された。中には珍答も飛び出し、海で成り立つ日本について楽しく学ぶひと時を過ごすことが出来た。

上窪講師から、児童にも理解出来るようユーモアを交えて、分かりやすくお話を頂き、児童も話の内容に興味を持ったのか、最後の質問コーナーでは、次々に手が挙がり、時間を大きく超過するほど大盛況となった。

児童からは、「船にはこれまで何回くらい乗りましたか?」、「船乗りをしてこれまでに何度引っ越しをした?」、「船乗りは家族と一緒に船に乗れるの?」、「これまでに海賊に出会ったことはある?」、「船員になったらどれくらいの給料がもらえるの?」等々、子供目線のユニークな質問がたくさん出され、楽しく海や船を学ぶひと時を過ごすことが出来た。

(5) 環境学習の実施 (13:40~14:10)

- ・会場：海遊館ホール
- ・内容：大阪湾ってどんな海?
- ・講師：海遊館飼育展示部普及交流チーム 副参事 北藤 真人 氏

- ① 海遊館飼育展示部の北藤真人講師から「大阪湾ってどんな海?」と題してお話しを頂いた。
- ② 冒頭、大阪湾の大きな地図を掲げて、大阪湾の位置、大きさ、そして今いる天保山の位置など児童の興味を掻き立てるよう、答えを問いかけるクイズ形式で話を始められた。
- ③ その後、大阪湾で見られるレッドデータリスト掲載の絶滅危惧種の紹介、大阪湾でよく捕獲される魚介類などを、同じく、児童に考えて貰いながらお話しを頂いた。
- ④ 北藤講師からの問い掛けに対し、参加児童からは積極的に手が挙がり、大阪湾の豊かさと共に、生存の危機に瀕している生物の種類等深く学ぶことが出来た。



また、大阪湾の護岸の開発により、干潟などの自然な形の浜辺が消失したことによる大きな弊害の紹介があり、更に、人が残す釣り針、釣り糸などのゴミにより海鳥などの生態に深刻な影響が出ていること、都市の河口近辺では工場や家庭などからの排水により海底にヘドロが溜まっているといった人間と自然の共生の中で生じる弊害の紹介もあり、海洋環境保護の大切さを学ぶことが出来た。

(6) 海の生物観察 (14:10~15:10)

大阪が誇る水族館「海遊館」に入館し、海の生物を見学し学習を深めた。

参加児童は海遊館の「探検ノート」を片手に、展示生物の案内などを書き写したり、館内スタンプラリーを楽しんだり、サメやエイなどの魚に実際に触れてみるなど、命を育む海の大切さや奥深さ、そして、海の恵みについて一層理解と関心を深めることができた。



(7) 海学び舎絵手紙の作成

① 参加者から、「海学び舎絵手紙」(はがきサイズ)を当センター宛てに送付していただくようお願いしたところ、参加小学校単位でとりまとめ下記枚数の送付があった。

- 絵手紙総数 364 枚
- 内訳 (別添絵手紙参照)
 - サンタマリア 104 枚
 - 海遊館等 260 枚

② 絵手紙展示

サンタマリア船内に展示中



2. 参加小学校及び参加者数

平成29年度「海学び舎」あらかると啓発事業 参加小学校一覧								
大阪関係								
学校名	〒	住所	Tel	参加児童数		引率教員数	参加者合計	帽子色
1 大阪市立港晴小学校	552-0023	大阪市港区港晴1-3-12	06-6574-6636	5年生	35	2	37	ブラック
				5年1組	20	6	26	ブルー
2 大阪市立築港小学校	552-0021	大阪市港区築港1-10-38	06-6573-2445	5年2組	20		20	ホワイト
				6年生	32		32	アクア
				5年1組	30	5	35	テイジ
3 大阪市立弁天小学校	552-0007	大阪市港区弁天2-9-35	06-6573-5812	5年2組	30		30	グリーン
				5年3組	29		29	レッド
					196	13	209	

3. 「海・船のお話会と海の世界学習や体験型見学会」実施状況写真

【オリエンテーション】（天保山船客ターミナル会議室）



実行委員長挨拶



オリエンテーション



【サンタマリア前集合写真】



弁天小学校5年1組



弁天小学校5年2組



弁天小学校5年3組



築港小学校6年生



築港小学校5年1組・2組



港晴小学校5年生

【サンタマリア内見学】



船長講話



救命胴衣装着体



船内見学



ロープワーク体験



手旗信号体験



大阪港内クルーズ



大阪港内クルーズ



船内クイズラリー

【学校紹介】



港晴小学校



築港小学校



弁天小学校

【海洋学習】



上窪講師



【環境学習】



北藤講師



【海遊館前集合写真】



港晴小学校5年生



築港小学校5年1組・2組



築港小学校6年生



弁天小学校5年1組



弁天小学校5年2組



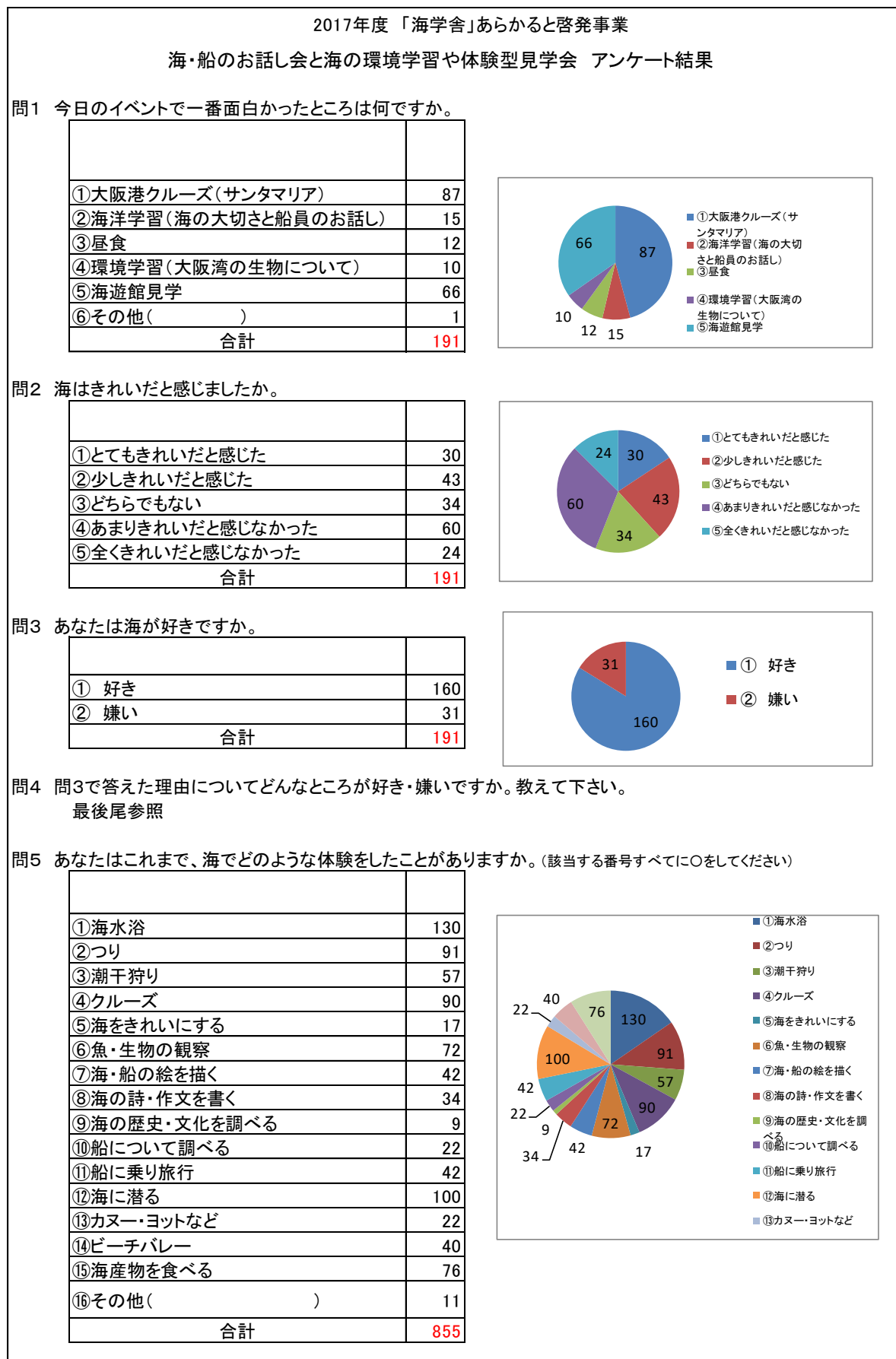
弁天小学校5年3組

【海遊館見学】



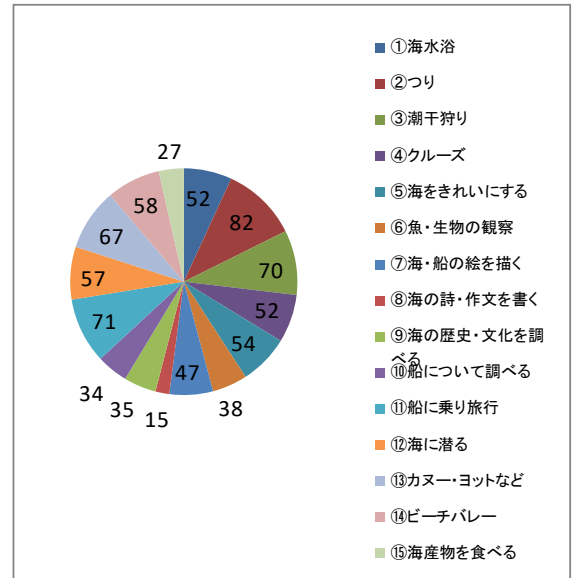
海の生物触れ合い体験

4. アンケート結果（回答数 191名）



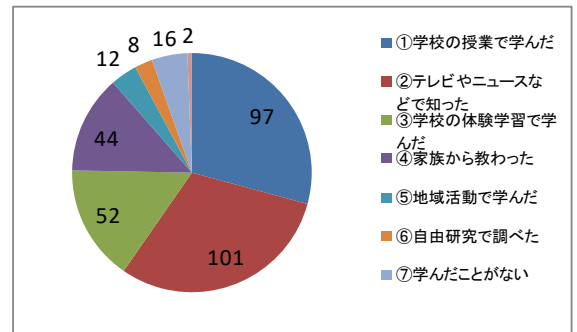
問6 あなたは今後、海でどのような体験をしたいですか？

①海水浴	52
②つり	82
③潮干狩り	70
④クルーズ	52
⑤海をきれいにする	54
⑥魚・生物の観察	38
⑦海・船の絵を描く	47
⑧海の詩・作文を書く	15
⑨海の歴史・文化を調べる	35
⑩船について調べる	34
⑪船に乗り旅行	71
⑫海に潜る	57
⑬カヌー・ヨットなど	67
⑭ビーチバレー	58
⑮海産物を食べる	27
⑯その他()	2
合計	761



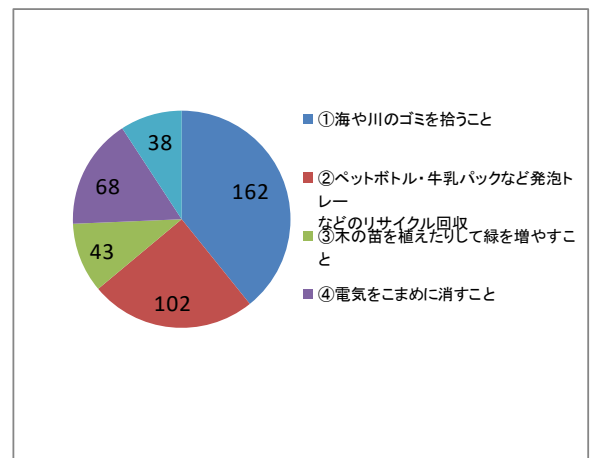
問7 エコ(環境問題)について学んだことがありますか。

①学校の授業で学んだ	97
②テレビやニュースなどで知った	101
③学校の体験学習で学んだ	52
④家族から教わった	44
⑤地域活動で学んだ	12
⑥自由研究で調べた	8
⑦学んだことがない	16
⑧その他(塾、)	2
合計	332



問8 エコ活動で皆が取り組めば良いのと思う活動は何で

①海や川のゴミを拾うこと	162
②ペットボトル・牛乳パックなど発泡トレーなどのリサイクル回収	102
③木の苗を植えたりして緑を増やすこと	43
④電気をこまめに消すこと	68
⑤ペットボトルのキャップを集めること	38
⑥その他()	3
合計	416



問9 あなたは海の日を知っていますか。

①知っている	145
②知らなかった	46
合計	191

問4 (海が好き、嫌いの主な理由)	
好き	太陽に照らされてキラキラ輝いてきれいだから
	ダイヤモンドポイントがすごくきれいだから(大阪港で夕陽がいちばん美しい場所)
	海の色がきれいで、その色が好きだから
	海はきれいで冷たくて気持ちいいから
	海の青さがきれいなところ
	自然を感じるから
	自然に触れあいたいから
	自然のあふれる唯一の場所の一つで、穏やかだから
	海は色んな自然があって、とても面白いから
	景色がいいし気持ちが良いから
	知らない生物もいて癒されるから
	涼しいから
	心がスキッとするから
	海は広いから
	海が近くにあるから
	この世界で一番大きくて穏やかだから
	見ていたら落ち着くから
	大阪湾の生き物が好き
	魚介類などがいっぱいいる
	生き物がいっぱいいて面白いから
	海で生き物たちと会えるから
	きれいな生物がいるところ
	魚などが住んでいてとても美しい
	魚が泳ぐ姿を見れたりするから
	マグロや貝を採って食べられるものが多い
	海は生き物の宝庫だから
	生活で海の生き物を食べているから
	魚やクラゲがいてかわいいから
	私の好きな動物が海に住んでいるから
	特に南の海は海水が透き通っていて、サンゴ礁や魚がたくさんいてきれいだから
	泳げるから
	海水浴や潮干がりが出来て楽しいから
	海で遊んだら楽しいから
	波の音が好きだから
	テレビで様々な海を見て好きになりました。
	お父さんが海に関する仕事をしているから
	夏になって海に行ったらすごく楽しいし幸せになるから
	水遊びが出来てきれいだから
	鹿児島県や鳥取県の海は青く泳げるから
	魚が釣れて食べれるから
	釣りや泳いだりできて楽しいから
	家族や友達といっぱい遊べるから
	海を見ていたら落ち着くし、自分の名前も沖縄の海に関係しているから
	自然を学べて、泳ぐ練習もできてとても楽しいから
	よく京都府の宮津に行って泳いでいるから
ダイビングや潜ったりして魚と一緒に泳ぐのが好きだから	
海では楽しい思い出がいっぱい詰まっているから	
船のクルーズや海で泳ぐのが好きだから	
海はいろいろなことに役立つ	
他の水と比べて浮きやすい	
船でも海の上を観光出来て楽しくてすずしいところ	
今まで好きではなかったけど、このイベントで海の大切さを知ったから好きになりました。	
今回の学習で海の大切さや海の生物のことを知れて海が好きになった。	
学習して海の大切さを知ったから	
嫌い	海の水はとてもしよっぱいから
	汚いから
	海には魚が死んでいた、汚いところが多い
	危険生物がいるから(サメ、クラゲ等)
	色々な生物がいそうでこわいから
	深いところにはまって死にそうになったから
	海でも流されたり溺れたりするから
	泳ぐのが苦手で何回もけがをしているから
	遭難したら元も子もないから
	船酔いする
	危ないから
ニュースで海の事故をよく見るし、泳げないから	
大阪の海はめっちゃ濁っていたから嫌い	

5. 講演録

「海学び舎」あらかると啓発事業

「海・船のお話会と海の環境学習や体験型見学会」

開催日時 : 平成29年6月29日(木)

08:30~15:30

開催場所 : 大阪港、天保山船客ターミナル、海遊館ホール

1. 開会挨拶

(公社)大阪港振興協会 事務局長 有田 正文

2. 船内見学(大阪水上バス(株) サンタマリア)

- ①船長講話
- ②ロープワーク体験
- ③船内見学
- ④救命胴衣着用体験
- ⑤手旗信号体験

3. 学校紹介(天保山船客ターミナル)

4. 海洋学習(天保山船客ターミナル)

講演 「海の大切さと船員の仕事」
近畿内航船員対策協議会会長 上窪 良和 氏

5. 環境学習(海遊館ホール)

講演 「大阪湾ってどんな海？」
(株)海遊館 飼育展示部副参事 北藤 真人 氏

6. 閉会挨拶

(公財)関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三

(1) 開会の挨拶

(公社)大阪港振興協会 事務局長 有田正文 氏



皆様、おはようございます。大阪港振興協会の有田と申します。主催者を代表いたしまして開会のご挨拶を申し上げます。

本日の事業は、一昨年からはじまり3年目になりました。今年は港区の港晴小学校、築港小学校、弁天小学校からご参加いただきました。ありがとうございます。

皆さんは港区に住んでおられますので、大阪港や船のことはよく知っておられると思いますが、実際に誰がどんなふうに船を動かしているのか、あるいは、大阪湾にはどのような生き物が生活しているのかということについてはあまりご存じないのではと思います。

今日は、一日かけてそれぞれ専門の先生方から教えていただくことにしておりますので、しっかりと勉強していただきたいと思います。

それから、今年は大阪港開港150年という記念すべき年です。昔、江戸時代には外国と貿易していませんでしたが、明治時代になり外国の文化を取り入れて国を豊かにするために外国とお付き合いすることとなりました。そこで、大阪の港に外国の人も来てください、そして貿易をしましょうということで、慶応4年の7月15日から大阪港に外国の船が入ってくるようになりました。来月の7月15日でちょうど150年になります。これを記念して大阪港ではたくさんの催しが行われますので皆さんもぜひ参加してください。

最後になりますが、今日の事業を行うために、日本財団からたくさんのご支援をいただきました。また関西交通経済研究センターや近畿運輸局をはじめ大阪港に関係するたくさんの団体の皆様にご協力をいただいております。

それでは今日は一日事故のないようにしっかりと勉強してください。以上、開会にあたりましての私のご挨拶とさせていただきます。

(2) サンタマリア船内見学

船長講話 (会場：サンタマリア 3階特別会議室)



皆さん、おはようございます。サンタマリア船長の久保と申します。どうぞ、よろしくお願い致します。

皆さん、船に乗るのは初めてですか？。時々このようなイベントで同じ質問をするのですが、なかなか乗ったことがある人は今日ほど多くありません。さすがに皆さん、港の近くに住まわれている方たちだなと思います。

このサンタマリアは、広島県の内海造船所で平成元年に建造されました。今年で29年になります。この船の大きさですが、長さが約50m、幅が約12mです。一番高いマストは水面から28mあります。最大でお客様を約800名乗せることができます。

この船のスピードは、だいたい時速にして20km/hであり、自転車と同じくらいのスピードです。船のスピードは「ノット」といいます。ノットで言いますと10~11ノットです。

この船は帆船型をしていますが、実は帆は飾りで風の力では進みません。本当は、エンジンでプロペラを回して進みます。プロペラは水面の下にあって見えません。大きなこの船はプロペラが二つついています。そのプロペラの直径は1752cmあります。それをディーゼルエンジンで回して前に進みます。

この大きな船を何人で動かしているかということ、5名でいつも動かしています。船の乗組員は大きく分けて甲板部と機関部の二つのパーツに分かれています。甲板部は私ですが船長と航海士2名の3名、機関部は、機関長と機関士の2名です。甲板部は、船の操縦や手入れをします。船は鉄でできていて、錆びてきます。この錆びを放っておくと穴が開いてしまい大変なことになります。このようなことが無いように錆びを落としたりペンキを塗ったりします。

機関部は何をするかということ、機械の専門家で、色んな機械エンジンをみています。船が進むための動力となるエンジンや、また、船は電気を自分で作っています。その機械が発電機であり、これによって客室を冷やすエアコンなどを動かしたりします。皆さんの家のエアコンより大きなエアコンがついています。そういう機械をいつも監視して、異常があれば修理したり、手入れをしたりするのが機関部の仕事です。

船長とか航海士とか機関士を一目でわかる方法があります。肩についているマークです。肩章(けんしょう)といいまして、金の線が入っていますが、船長は4本入っています。3本が一等航海士です。二等航海士は2本です。金の線の中に紫の線が入っていますが、その紫のラインが機関部の証で4本入っているのが機関長で、機関部の責任者です。紫の線に金の線が3本入っているのが一等機関士です。通常この5名で船を動かしています。

ここで、少し皆さんから質問を受けたいと思います。

Q： 肩章に白い線が入っているのは何部ですか？

A： 白い線が入っているのは事務部です。事務を担当する人が白いラインです。

その他赤い線の方は医療部で船のお医者さんや緑は無線部で通信士です。船のお医者さんや通信士は、大きい客船に乗っています。

まだまだ、いろんな質問があると思いますが、時間が来ました。この後、楽しいクルーズがありますので楽しんでください。これで、私のお話を終わらせていただきます。

(3) 学校紹介（概要） （発表順）

1. 大阪市立港晴小学校

(1) 港晴レンジャーについて

港晴小学校にはヒーローがいます。その名も港晴レンジャーです。赤、黄、緑、青、黒、ピンク色のマントをつけたヒーローがみんなのために、右側通行について活動しています。

例えば、放送で右側を歩こうと流したり、廊下を歩いてねと声をかけたり、インタビューをしたり、右側を歩くための替え歌を作って歌ったりして、皆が右側を歩いて、けががなく楽しく学校生活が送れるようになっています。

港晴レンジャーは皆のことを守っています。



(2) 縦割り班について

港晴小学校には「縦割り班」があります。

全学年一緒に活動できるので知らない子とも自然と仲良くなります。縦割り班では、港晴フェスティバルで違う班と一緒にお店をしたり、一緒に給食を食べたりします。

児童週間の時には、縦割り班で楽しくゲームをします。例えば「じゃんけん列車」や「クイズ」などもしているので、皆ととても仲良しになれます。



(3) 港晴小学校のお花紹介

港晴小学校には学校内にお花が沢山咲いています。緑のボランティアの人や委員会などでお花に水をあげたり、肥料をまいたりしています。他の季節にも、桜やチューリップなどを育てています。

新しい先生が来られた時も「港晴小学校はお花がきれいですね」と言っていました。授業で1年から6年生が瓢箪やチューリップを育てています。他にも勉強でお花の観察などを行っています。このように、港晴小学校はお花に囲まれています。ユリ、マーガレット、キャベツ、イチゴ、ひまわり、チューリップ、桜、バラなどを皆で育てています。

これで、港晴小学校の発表を終わります。

2. 大阪市立築港小学校

(1) みんな仲よし

僕たちの通っている築港小学校は、地下鉄大阪港駅から徒歩2分のところにあります。築港小学校は、全学年がとても仲がよく、休み時間には違う学年と遊んでいる人がたくさんいます。

(2) 縦割り班活動

なぜ仲が良いかといいますと、毎週木曜日に全児童が集まって、11人から12人の縦割り班で遊びをするからです。その縦割り班のメンバーは1年生から6年生まで各学年で構成されています。縦割り班で「縦割り遠足」に行ったり、「縦割りオリンピック」も行ったりします。

他にも、運動場が広いという特徴があります。全校児童179人と少なめですが、運動場が広いのでみんなが広々と場所を使って遊んでいます。

まだまだ、色々な遊びを行っています。例えば、「築港の森」や「アスレチック」などがあります。

そのため、みんな体を動かすことが好きです。

(3) パッピーボックス

更に、今年度から「パッピーボックス」という取り組みをして、「みんなの良いところ見つけ」をしています。みんなが、良いところを見つけようという意識が高まってきて、ますます仲が良くなってきています。このように、児童も先生もみんながあたたかいということが、築港小学校のよいところですよ。

これからも、明るく全児童で協力し合いながら学校生活を送りたいと思っています。これで、築港小学校の発表を終わります。



3. 大阪市立弁天小学校

(1) 学校概要

私たちが通う弁天小学校は1970年にできました。児童数が約540人です。

学校には、弁天山という山があります。ここはいろいろな植物があり、1年中生き物の観察できます。



(2) 学校授業、行事

弁天小学校の体育の時間には、毎回、弁天体操というオリジナルの体操をしています。楽しく、リズムに合わせて体操をしています。

英語の時間は、アイスランドから来られたビルギル先生と一緒に学習します。とても優しく教えていただき、毎回楽しみです。

日曜参観では、保護者とスポーツフェスティバルをしました。綱引き大会とドッジボールをしました。とっても盛り上がり、またやりたいと思います。



(3) ウサギのマリオ

弁天小学校で飼っているウサギのマリオを紹介します。飼育栽培委員を中心に、みんなで世話をしています。ふわふわで丸くてとてもかわいいです。弁天小学校のみんなが大好きなアイドルのような存在です。

弁天小学校は、楽しいことがいっぱい、みんな仲が良いとても良い学校です。

これで、弁天小学校の学校紹介を終わります。

4. 海洋学習（天保山船客ターミナル）

講演 近畿内航船員対策協議会会長 上窪 良和 氏

テーマ：海の大切さと船員の仕事



皆様こんにちは。

本日の「海・船のお話会と海の世界学習や体験型見学会」に参加されて、体験型ということで、先ほど、サンタマリアに乗船され、大阪港の様子も見てもらいましたし、クイズで船のことも勉強されましたね。今日は、海、船、船員さんのお話をさせていただきたいと思います。

私は、上窪（かみくぼ）と言います。ずっと長い間、外国航路の貨物船の船長をして、世界中の殆どの海を走り色々な国に行ってきました。

今日は、主に船の話をしたと思います。

日本は四方全部海であり、海と関わりなしでは生きていけない国です。いろいろ海への関わり方はあります。まず一つは、船で荷物を運ぶということで、少し難しい言葉で「海運」といいますが、これに使う道具が「船」です。物を運ぶという方法は、船だけでなく、あと2種類あるのですが

（小学生）「飛行機」です。

はい、そうです。飛行機で運ぶことを何と言いますか。「空運」と言います。

では、もう一つは？ 皆さんの身の周りにあるものです。

（小学生）「陸運」です。

はい、陸運です。陸運は、車だけではなくて、もう一つあります。何かというと「列車」があります。

陸運で物を運ぶのに何を使うのが多いかということ、車ではトラックが多いです。それから列車という方法があります。

今日は、そのうちの海運のお話を中心にさせていただきます。世界地図を見てもらうと日本は海に囲まれています。日本と外国との間で、物を買ったり売ったりすることを何て言いますか？

（小学生）「貿易」です。

はい、貿易です。貿易のうち、海外に物を売ること何て言いますか？

（小学生）「輸出」です。

そうです輸出です。では、海外から物を買うことは何て言いますか？

（小学生）「輸入」です。

そう輸入です。では、日本は、輸入と輸出で量ではどちらが多いとおもいますか？

（小学生）「輸入」です。

そのとおり輸入の方が圧倒的に多いです。輸出の7倍くらいあります。では、なぜ、日本は輸入が多いのでしょうか？

（小学生）「物が少ないからです。」

そうです。難しい言葉で言いますと、「資源」といい、日本は資源がもの凄く少ないので、日本が産業を興し暮らしていくためには、日本に無いものは海外から買わなくてはならないのです。海外から物を買

うときに、使えるものはこの3つ（海運、陸運、空運）のうち、どれとどれですか？

海運と空運で、陸運は使えません。周りは海ですからトラックも列車も海の上は走れません。だから、貿易に使える手段は「海運」と「空運」です。

空運というのは、主に人を運びます。勿論、貨物も少し運んでいますけど、殆どが人なのです。そうすると、結局は、殆ど「海運」で運ばなければならないのです。では、どれくらいの割合かといいますと、輸出、輸入の 99.7%、ほぼ 100%近くを船で運んでいます。残りの 0.3%だけが飛行機で運んでいるのです。

では、飛行機の 0.3%はどのようなものを運んでいるのでしょうか？

(小学生)「コンピューターです。」

そうです。コンピューターの部品であるとか、貴金属だとか、小さくても値打ちのすごく大きいものは飛行機で運んでいるのです。飛行機は運賃が高いですから、高くてもいいもの、或いは、あまり大きくなくて飛行機に乗るもの、急ぐものを運んでいます。

それ以外はほとんど海運、船で運んでいます。海外からいろいろなものが船で運ばれてきます。それは、日本の産業とみなさんの生活に非常に密着しています。

日本は色々なものを輸入していると言いましたが、量の多い順に 1 番から 6 番までを考えたいと思います。

なぜ、6 番までかといいますと、7 番目からは運搬の量がぐんと少なくなるので、日本が外国から運ぶ量の多いもの 6 つまでが非常にたくさんあるということです。

これは、中学生のお兄さんに出している問題で、中学校でもノーヒントで 1 から 6 まで当たった学校は未だに 1 校もありません。それくらい難しいのです。

1 番は何ですか？

(小学生)「鉄」です。

鉄は何でつくるかというと、鉄鉱石であり、鉄鉱石は 3 番目です。

(小学生)「石油」です。

はい、1 番は石油です、ペットボトルも石油で出来ていますし、皆さんが着ている制服もほとんどが石油からで、石油が無ければ、日本はもちろん他の国でも生きていけません。

2 番は？

(小学生)「石炭」です。

石炭は 2 番ですが、なぜ輸入の No.2 なのでしょう？

(小学生)「電気をつくるときに使います」

そう発電です。でも、これは石炭の半分くらいで、残りの半分は違う目的に使っています。何に使いますか？

(小学生)「鉄を作るとき」です。

そうです。難しいことばでいうと「製鉄」と言います。製鉄というのは 3 番目の「鉄鉱石」を精製して作り出します。



鉄鉱石は茶色い石ころで、その中に鉄が入っているのですが、そのままでは使えないので、一旦、石炭とまぜて、火をつけて高い温度にして鉄鉱石を溶かします。溶けると鉄が流れて出てきます。これを鉄にしているのが、石炭は、発電と製鉄の2つに利用します。

4番目は？ 皆さんのどの家にもあります。

(小学生)「天然ガス」です。

正解です。難しい言葉ですけど、LNGで日本語では液化天然ガスと言います。

5番目は？ もっと皆さんの身近にあります。

(小学生)「木材」です。

木材は残念ながら6番目です。

(小学生)「穀物」です。

そうです。穀物といえば、大豆とか小麦とかトウモロコシですが、この中で、日本が一番多く買っているのはトウモロコシです。トウモロコシは年間1,500万トンくらい買っていますが、何のためにこんなに沢山トウモロコシを買うのでしょうか？

(小学生)「家畜のえさ」です。

そうです。ちょっと難しいことばで「飼料」といいます。これは、牛とか豚とか鶏のエサです。人間が食べるために買っているというよりも、ほとんどは家畜のエサです。

これで1番から6番まで出ました。

- 1番 石油
- 2番 石炭（発電・製鉄）
- 3番 鉄鉱石
- 4番 天然ガス（LNG）
- 5番 穀物（とうもろこし等で飼料）
- 6番 木材

これは日本の産業と皆さんの暮らしになくてはならないものばかりです。これ全て、100%船で運んでいます。船が止まってしまうと、皆さんは1か月もすれば生活ができなくなります。日本の産業も皆さんの暮らしも止まるのです。それくらい大事なことを船がやっているということを今日覚えて帰ってください。

船で荷物を運びますが、一番特徴的なものは何かといいますと、船というのはでかいですから、一番大きな船は長さが300~400mくらいあります。幅が60m位で、1回で約30万トンの荷物を積めるのですが、大量輸送というのが一番得意なことです。

一番大きな船がどれくらいでかいかというと、船を上から見たときに、サッカーのグラウンドのことを「ピッチ」と言いますが、国際規格で110m×68mとなっており、このピッチが大体3つのりです。船の上でサッカーの試合が同時に3つ出来るくらいの大きさであります。この船で1回に約30万トンの石油を運びます。

船は大量に運べる代わりに弱点があります。船の弱点は何でしょう？

(小学生)「スピードが遅い」です。

そうです。スピードが遅いことです。大きいので早く走ることができない。何故かと言いますと、船というのは、走っているときは、荷物を積むと海の中に大体2/3くらい沈んで走ります。

進むのには、水をかき分けながら進まなければいけないのです。皆さんは自転車を一生懸命こいたら、風もないのに、自分が走ると周りの空気が風みたいに当たって、重たくなりますね。

空気でも重たいから、水は空気より何百倍、何千倍もの抵抗があるから、水を押し分けながら走ることは大変なわけです。そのために一生懸命エンジンを回しても、スピードはあまりでません。だいたい時速にすると25km/hからせいぜい30km/hくらいです。車の1/3くらい、飛行機の1/30くらいしかスピードがでません。

ここで問題です。日本からアメリカの西海岸のサンフランシスコまで飛行機で旅行すると、ジェット機で約10時間で行けます。では、船は飛行機の30倍時間がかかるから、日本からアメリカまで行ったら何日かかるのでしょうか。大体12.5日くらい(300時間÷24時間)、実際には風とか波などの天候等と考慮すると約2週間くらいかかると思ってください。

船は、一度にたくさんの荷物を積んで世界中を走りまわっていますけど、時間がかかるので船員さんも船の上で生活しながら仕事をするのです。船員さんの仕事は他の仕事と一番違うのは、生活の場と仕事の場が同じ場所です。通勤というのはありません。1回船に乗ったら何か月もそこで生活して、世界中回ります。世界1周しますと、だいたい3か月くらいかかります。

私も、世界を連続2週したことがあります。半年以上船に乗り続けたことがあります。私が経験した過去で一番長い航海は、カナダから日本まで鉄鉱石を積んで走ったことがあります。北アメリカと南アメリカの間にパナマ運河がありますが、ここは大きな船が通れないのです。ですから、カナダ沖から大西洋を航海し、アフリカ大陸の喜望峰をまわり、インド洋を航海し、マラッカ海峡に出て、南シナ海、東シナ海を経て日本までで、35日かかりました。35日間陸は殆ど見えませんでした。海と空だけの生活、これが船員です。

このように大変ですけど、仕事ですし、好きですから全然苦になりませんし、ゆっくり考える時間もあります。ただ、今は若い人で船員になる人がどんどん少なくなっています。特に、内航船といって国内を走っている船では、平均年齢は50歳近くになり、60歳以上の船員さんは4人に1人という高齢化の社会になっています。若い人が船員になりたがらない一つの理由は、長いこと船の上で暮らさなければならないことです。その代わりにまとまって休みがあります。

私が乗っていた外航船は、1年間12か月のうち8か月間連続で仕事をします。その代わり4か月間が休みです。近所では、8か月間家に帰らないわけですから、あそこのご主人は蒸発されたのではないかと噂になったりします。今度は、4か月間家にずっと居るので、会社が潰れて失業したのではないかと聞かれたりします。

船員とはこのように特徴のある仕事です。でも、海に囲まれた日本で、海運という存在がないと、日本という国は生きていけません。だから、そこで働いている船員さんは、非常に大切な仕事をしているのです。

皆さんは、これまで船員さんの仕事を知る機会がなかったと思いますが、今日を機会にそういう仕事をしている人がいるということをお覚えておいてください。



最後に、外国の話、海の話、船の話、何でもよいので質問してください。

(小学生)「船員さんは何か国語を喋るのですか？」

- 船乗りは、世界中いろんな国に行きます。全部の国の言葉を喋るのは無理でありますので、約束があります。それは、どこの国の人も海外で仕事するときは、英語をしゃべりましょうという約束になっています。英語ができれば世界中どこに行ってもほぼ大丈夫です。

(小学生)「船の食べ物でカレー以外はどのようなものを食べるのですか？」

- 正直に言って、生鮮食品は出港して2回目くらいまではおいしいです。その他の食べ物は、船は長いときは2か月くらい連続で走りますから、その間の食料は船に積んでおくのです。だからほとんどは冷凍食品です。その代わりに、船は海外で安いものを買えるので、お肉は食べ放題、毎日ステーキでも大丈夫です。でも、野菜は生もので長持ちしないので少ないのが現状です。

(小学生)「船酔いはしますか？」

- 人間というのは、100人いれば99人は船酔いします。よほど特殊な人以外は船酔いをします。ただし、殆どの人は3日くらいで慣れます。

(小学生)「引っ越しは何回しましたか？」

- 海外勤務があるので、結婚してから12回くらい引っ越ししています。

(小学生)「事故とかありましたか？」

- 事故は起こしたらいけないので、起こさないように注意していました。私は、1回も事故を起こさずに済みました。それだけ気を付けて走っています。この前、ニュースでアメリカの軍艦とコンテナ船が衝突していましたけど、あれは両方ともちゃんと前を見ていなかったからではないかと思いません。

(小学生)「何回船に乗ったのですか？」

- 12隻の船に乗船して約50回以上航海しています。一回乗船したら半年から8か月と長いです。

(小学生)「給料はいくらですか？」

- 船員とは3等航海士、2等航海士と下から上がっていき、最後に船長になりますが、船長になれば、だいたい年収1千万円以上になります。

(小学生)「海賊船に会ったことはありますか？」

- 見たことはあります。ただし、皆さんが考えているような「どくろマーク」を付けた海賊船ではありません。今は、7~8メートルのボートにでっかいエンジンをつけて、船より倍くらいのスピードで走って、そこにライフルや機関銃を持って襲ってくるのです。

日本の船は武器を持っておりません。それをどうやってやっつけるか、船に消防用のホースがあるので、乗り込もうとする者に船のうえから水をかけて撃退するのです。

以上、まだまだいろんな質問をお受けしたいのですが、時間になりましたので海の大切さや船の重要性、船員の仕事などの話を終わらせていただきます。

5. 環境学習（海遊館ホール）

講演 (株)海遊館 飼育展示部副参事 北藤 真人 氏
テーマ：「大阪湾ってどんな海？」



皆さんこんにちは。本日はたくさんの小学生の皆さんに集まっていただき、ありがとうございます。私は、海遊館で飼育係をしています北藤といいます。今日は皆さんに大阪湾のお話をして、その後海遊館の中に入らせていただきます。海遊館では、世界中の海からやってきた生き物たちを見ることができますが、まず、皆さんの地元の海である「大阪湾」とその生き物たちのことを知ってもらいたいと思います。

午前中、皆さんはサンタマリアに乗って、大阪港の中を見て回りましたね。大阪港は非常に船が多く、午前中に聞いた話とも合わせ、海運業が盛んなことがよく分かったと思います。海の色はどうでしたか？（小学生：汚い、濁っていた）そうですね、残念ながら濁って汚れていましたね。海の汚れのことはこの後のお話の中でも説明しようと思います。



まず、大阪湾全体の海岸の様子を見てみようと思います。ここで、スタッフの方に手伝っていただいて大阪湾の大きな地図を広げます。まず、この地図の中で大阪湾とはそもそもどこを指すのかわかりますか。左側に大きな島がありますね。この島の名前がわかる人いますか？（小学生：淡路島）そうですね。大阪湾はこの淡路島にふさがれたような形になっていて、海水の出入りするところは、明石海峡と友ヶ島水道の2ヶ所しかありません。



皆さんが今いる海遊館は、大阪湾の奥のこの辺りに位置しています。では次に前のスクリーンを見ながら、大阪湾の様子を詳しく見てみましょう。まず、湾の奥に位置する海遊館とその周辺の大坂港の様子



を空から見たのがこの写真です。海岸のほとんどは埋め立て地です。また、海岸が大変複雑な地形になっているのがわかります。次の写真は、海遊館前の天保山岸壁に近づいて撮影したもので、みなさんが乗船したサンタマリアも写っていますね。さらに近づいてみると岸壁の様子がはっきりしてきましたね。



この写真のようにコンクリートで固められ真っ直ぐ海に落ち込んでいる岸壁を「垂直護岸」と呼びます。これは何のために作られたと思いますか？これは、岸に船が着けやすいようにしているのです。この写真のように海遊館前の岸壁には10万トン以上の大きな客船が着けられるようになっていて、水深も深くなっています。



その他、大阪港で目立つのはこのような大型クレーンです。コンテナ船を垂直護岸に着けて、クレーンで荷物を下ろしたり積み込んだりするので。以上のように、垂直護岸の役割は船をつけて人が乗り降りしたり、荷物を積み下ろしするためのものです。都市の海岸は、船を利用してたくさんの人や物が往来するためにほとんどが垂直護岸となっているのです。これは、私たちの生活を豊かで便利にするために欠かせないものですね。でもそのかわり、簡単に海に近づいて遊ぶことはできなくなってしまいました。実は、大阪湾の海岸のほとんどが、垂直護岸なのです。では、この地図で示した大阪湾の南部の海岸はどうでしょう。



この写真に写っているのは砂浜です。海水浴も出来そうです。垂直護岸とはずいぶん違いますね。次の写真は「干潟」という場所です。皆さん、干潟を知っていますか。大阪湾では埋め立によって干潟はほとんどなくなってしまいました。潮が引くと干上がってしまう、砂や泥でおおわれた広く浅い場所です。



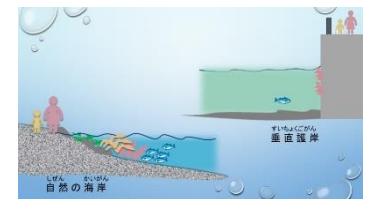
干潟はいろんな生き物のすみ家となり、海水をきれいにする働きもある大切な場所ですが、後でもう少し詳しくお話します。次の写真は、大小の石がゴロゴロしている海岸です。



この写真に写っているおばさんたちは何をしているかわかりますか？（小学生：ゴミ拾い？）。正解は潮干狩り（貝ほり）です。アサリという貝を採っているところです。南部では、ちょっと海岸に出るだけでご飯の「おかず」になるアサリなどの貝や海藻などが採れるのです。ちなみに、海遊館のある天保山でも江戸時代には潮干狩りができたそうです。おそらくこの写真のような海岸があったのでしょうが、明治時代には埋め立てられてしまいました。最後に紹介するのが、大きな岩でできた海岸です。南部に少しだけ残っています。



以上お話ししたように、大阪湾の海岸は、ほとんど垂直護岸に変わってしまいましたが、南部には、砂浜・干潟・石の多い海岸、岩でできた海岸がわずかに残っています。これらは人の手があまり加わらない自然海岸です。最初にお話した垂直護岸とどこがどう違うかわかりますか？このイラストを見て比べてみて下さい。（小学生：自然の海岸は生き物が多いが垂直護岸には少ない。自然の海岸の方が水がきれい。など）そうですね。まず自然海岸というのは、陸から海に向かってゆっくりとした傾斜ですが、垂直護岸の場合はいきなりドスンと海になっていて、船が入るために水深が深くなっています。実は、自然海岸のゆるやかな傾斜と石が積み重なるような場所では海藻が生えやすく、魚や小動物がエサや隠れ家を求めて集まります。さらにそれを食べる大型の動物も集まります。しかし、垂直護岸は海藻が生えにくい上に隠れ家となるような場所がありません。さらに垂直護岸では潮の流れが悪くなり、海底に汚れがたまりやすいことも知られています。なによりも人が海に近づきやすいのは自然海岸の方ですね。



これまでのお話でなにが言いたかったかと言うと、大阪湾の海岸はほとんどが人工の垂直護岸になってしまい、生き物が住みにくく、人が海に近づけなくなってしまったこと。大阪湾の南部では、わずかに自然海岸が残っているということです。

次は、「海の汚れと生き物」についてのお話です。海には川からいろんなものが流れてきます。どんなものが流れてくるでしょう？例えば、人が捨てたペットボトルやレジ袋、流木などのゴミが流れてきますが、みなさんの家庭の台所やお風呂で使った汚れた水、工場で使われた汚れた水などもたくさん流れてくるのです。ただし、汚れた水は直接川に流されることは少なく、下水処理場などに送られて汚れの一部は取り除かれます。しかし完全にきれいにすることはできません。

このイラストのように、大都市には多くの人暮らし、工場もたくさんあります。当然たくさんの汚れた水が川に流され海に出ることになります。

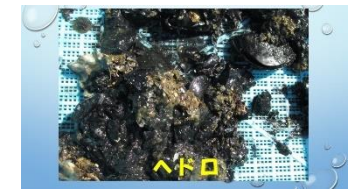
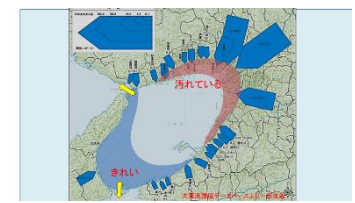
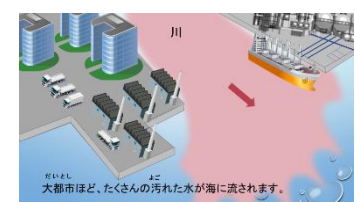
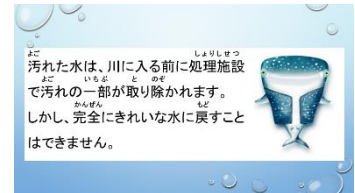
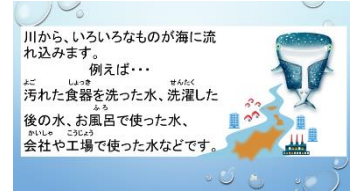
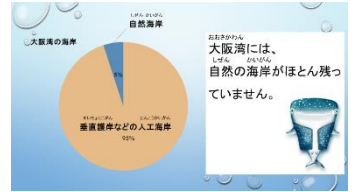
この青い矢印は、川のある場所を示しています。大きい矢印ほど水量が多くなっていることを表しています。一番水量が多いのは淀川ですね。あとは、神崎川、武庫川、大和川も多いです。これらの水量が多い川は湾の奥に集中していて、その周辺は大阪や神戸の大都市になっています。当然、湾の奥には汚れた水が大量に流れ込んでくることになります。一方、大阪湾の南部をみると川は少なく、大きな都市はありません。したがって大阪湾の特徴として、湾の奥ほど汚れがひどく、南部に行くほど海水はきれいなのです。

どれほど湾の奥が汚れているのかを示しているのがこの写真です。

これは海底のヘドロです。このヘドロは、海遊館の前の岸壁からとったもので、淀川などの川から流れてきた汚れや生物の死骸が海底にたまって腐ったものです。海遊館がある大阪港は大都市にあり、川からの汚れが多く、さらに海岸が垂直護岸で複雑な入り組んだ場所なので潮の流れを悪くし、このようなことが起こっているのです。

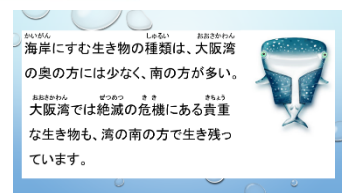
では実際に海岸にすむ生き物の様子はどのようなでしょう？この表は、私が毎年夏に海遊館前の海岸生物を調べた結果と、同じ時期に大阪湾の南部の泉南里海公園（地図の星印の場所）で別のグループが調べた海岸生物の数を比較したものです。天保山（海遊館前の岸壁）は66種類で、一方の里海公園は222種類です。里海公園の方が3.5倍くらい多いのです。やはり、湾の奥は生き物が住みにくい環境で、南部には生き物が住みやすい自然に近い環境が残されていると考えられます。

さらに海岸生物で注目することは、南部の海岸には全国的にも数が少なく大阪湾では絶滅の危機にある貴重な生き物が見つまっているということです。



生き物	天保山	里海公園
海藻類や海草類	3	55
海綿動物	2	4
刺胞動物	2	4
扁形動物	0	1
触手動物	1	1
軟体動物	15	47
環形動物	10	11
節足動物	24	46
棘皮動物	3	12
尾索動物	4	6
脊索動物	2	35
合計	66	222

平成20～26年の7年間、毎年初夏に1回調査した結果見つかった生物。



少しだけその貴重な生き物の話をします。この写真は大阪湾の南東部に
ある男里川の河口にある干潟です。潮が引くと泥や砂でおおわれた広い地面が
現れます。地面に近づいた写真がこれです。白いかたまりがいっぱい写っ
ているのがわかりますか？これは生き物なのですが、どんな生き物かわかりま
すか？（小学生：カニです。）そうです。「ハクセンシオマネキ」というカニで
す。国や都道府県が定めたレッドデータブックというものがあるって、絶滅の
危険性がある生き物をリストアップしています。このリストの中でハクセン
シオマネキは、全国で絶滅の危険性がある種類にあげられています。幸い、
大阪湾では南部を中心にハクセンシオマネキの数が増えて
きています。男里川の干潟にはこれ以外にも色々なカニがい
ます。私が調査でみつけた種類がこの写真です。この中で、
赤丸のついたカニは、国や大阪府のレッドデータブックにお
いて絶滅する危険性があると考えられている種類で、5種類
がみつかりました。次の写真も同じ干潟で写したもので
すが、干潟の上にたくさんころがっているように見えるのは
「ウミニナ」という巻貝です。ウミニナも全国的に数が少なく、国や大阪府
のレッドデータブックで絶滅する危険性がある種類とされていますが、この
干潟にはたくさんいるようです。他に私が見つけた貝の写真がこちらです。
カニの時よりたくさんの種類で赤丸がついていますね。それだけ絶滅の危険
性がある貴重な種類が多いという事です。ここだけ半分黒マルがついていま
すが、これは、「カワアイ」という巻貝で、2014年の大阪府
のレッドデータブックでは絶滅してしまったため、黒色にし
ました。写真のカワアイは、2006年に私が発見して写真を
撮りましたが、それ以降私は見つけることができていません。
全国的には絶滅はしていませんが、その危険性が高まってい
るとされています。



以上、大阪湾の南部には絶滅の危険性がある貴重な生き物
が多く、すでに絶滅してしまった生き物もいることを、カニや貝の例をあげて紹介しました。ここで気づ
かなければいけないのは、絶滅の危険性とは、人間が行う海岸の埋め立てや工事などが原因となる場合が
多いということです。一度こわした自然環境を人間の力でよみがえらせることは大変むずかしいことです。

次に、大阪湾の漁業についてのお話をさせていただきます。前の机に大阪
湾でとれる生き物のパネルを用意しました。名前を言える人いますか？
（手をあげた1名の小学生：イカ、マダコ、シャコ、カレイ、カニ、マダイ、
アナゴ、クルマエビ、ヒラメ、エビ）



そうです。よくわかりましたね。しかし、大阪湾の漁業で一番たくさんと
れる生き物はこの中には入っていません。何かわかりますか？みなさんも食
べたことがあると思います。（何人かの小学生がいくつかの名前をあげる。：イワシです。）

はい、正解です。大阪湾では1位がイワシです。イワシの中でも「カタクチイワシ」が多いです。2位は、イワシの子供である「シラス」で、多いのはカタクチイワシのシラスです。

実際に海遊館に入ったら、「カタクチイワシ」が見られます。

水槽の中にいっぱい群れで泳いでいます。なぜ、イワシが多いのか？それには理由があります。大阪湾には、汚れが奥の方にいっぱい流れ込んでいました。この汚れというのが、注目するところなのです。汚れというのは、海を汚す原因になるという話はこれまでにしてきましたが、その一方で海の栄養分になるという部分があるのです。植物を育てるのに土に肥料を混ぜますが、汚れというのは水中に肥料をまいているようなものなのです。海に肥料をあげると何が増えるのでしょうか？海の植物というとワカメやノリなどの海藻や植物プランクトンです。汚れの多い大阪湾の奥には特に植物プランクトンが多く、その植物プランクトンを食べて動物プランクトンも増えます。プランクトンがたくさん増えると今度はそれを餌にするイワシが増えるという仕組みです。まとめると、川から流れ出た汚れの一部は栄養分となり、めぐりめぐってイワシを増やす働きがあり、そのおかげで大阪湾ではイワシが一番獲れるのです。

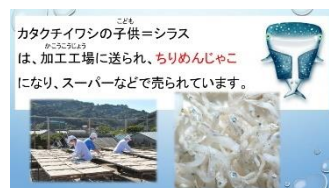
先日、イワシの子供のシラスをとる船に乗ってきました。その時の様子を見てもらいます。

- ①朝4時ごろです。
- ②船がいっせいに発航します。
- ③網をいれました。魚群探知機で調べて、そこに網を入れました。
- ④網を引っ張って、網をあげます。
- ⑤網の先がふくらんでいますが、全部イワシの子供（シラス）が入っています。
- ⑥港に帰ってきました。
- ⑦とれたものを見ますと、透明です。1 cmから2 cmのイワシの子供（シラス）がいっぱいです。
- ⑧そのあと、シラスは加工工場に運ばれて、「ちりめんじゃこ」になります。

海の汚れは生き物が住む環境を悪化させるという話の一方、イワシを増やす効果があるというのは変に聞こえるかもしれませんが本当のことです。さらに、イワシが増えるとそのイワシやシラスを餌にする小魚やタイやスズキ、タチウオなどの大型魚も増えるという効果があります。大切なのは汚れが栄養分になるといっても、多すぎると良くないということです。なんでも行き過ぎてしまうことはよくないことです。

では、ここでこれまでの話をまとめて整理したいと思います。

- ① 大阪湾では海岸のほとんどが垂直護岸に変わってしまいました。特に湾の奥は、川から汚れが大量に流れ海底にたまります。海岸生物も少なく、人も海に近づけません。
- ② 大阪湾の南部には、砂浜や干潟などわずかに自然海岸が残っています。南部の海は汚れが少なく、自然海岸は生き物が住みやすい環境です。人が海にでてアサリを採ったり、遊ぶこともできます。
- ③ 南部の海岸には、絶滅の危険性がある貴重な生き物も住んでいます。人間が行う埋め立てや工事が絶滅の危険性を高めます。一度こわされた自然はもとに戻せません。
- ④ 大阪湾の漁業では、カタクチイワシが一番獲れる魚です。海の汚れは悪いことばかりではなく、プ



ランクトンを増やす効果があり、それを食べるイワシを増やします。

また、他の生き物もイワシを食べて増えます。大切なのは汚れを出し過ぎず、栄養分としてうまく 利用することです。

今日はたくさんのお話をしましたが、最後にみなさんの地元の海「大阪湾」が私たちにとっても生き物たちにとっても豊かな海であるためにはどうしたら良いか考えてみましょう。まず、実際に行われている取組みとして、垂直護岸をやめて、できるだけ自然に近づけた海岸で人が海と親しめる場所を作ることです。この写真のように、人工の砂浜（ビーチ）を作りました。



ビーチバレーとか海水浴、潮干狩りなどができます。次ぎの写真は、岩で出来た海岸を作り、「潮だまり」といって、潮が引くとプールのようなものができてそこいる生き物を観察することができるという場所を作りました。このような取組みは、生き物にとっても住みやすい環境を与えることになりま



すし、人が海と親しむことでより生き物のことを理解しやすくなります。以上の海岸の作り変えはみなさん個人ができることではないですが、皆さんが出来ることというのは何でしょうか？今日、サンタマリアに乗って、ゴミの数を数えていた人がいましたね、ゴミはどれくらいありましたか？（小学生：560 個ありました。）よく数えましたね。560 個とはすごい数ですが、ゴミは潮の流れに乗ってもっともっと多く

集まることもあります。浜辺に大量に打ち上げられていることもありますね。これをなくするには、どうしたらよいと思いますか？（小学生：ゴミを捨てない）そうですね。まずゴミを捨てないことです。捨てられたゴミというのは、拾わないとどうしようもないですから、いろんなところで、「ゴミを拾いましょう」というイベントがありますから、積極的に参加して下さい。



ここで、かわいそうな例を紹介します。これは、海岸に集まる鳥で「シギ」の仲間ですが、死んでいます。その足を見て下さい。これは何かわかりますか？（小学生：釣り糸です）そうです。釣り糸です。捨てた釣り糸が鳥の足にからまって、飛べなくなり死んでしまったのです。人間が捨てたことによ



ってこのような被害がおこります。だから、気をつけて捨てないようにすることと、いろんなものがあれば拾うことが生き物たちを守ることになります。あと、私たちが出来ることは、汚れた水をなるべく少なくすることです。工場やオフィス、私たちの家庭で使った水は最後には海に流れます。私たちが生活する上で水を使い汚してしまうことは仕方のないことです。でも、自分で気を付けて、水を使い過ぎず、場合によっては水で洗わないでそのままゴミ箱に捨てた方が水に溶け込む量も減ります。そういうことをみんなが考え実行すると、少しのことでも集まれば大きな効果が現れます。そうすれば、海の水は少しず



つきれいになって、ちょうどよい汚れ具合（=ちょうどよい栄養分）と自然に近い海岸があれば、生き物たちがどんどん増えてくることでしょう。海はみんなの宝物です。人間のためだけではなく、生き物たちも含めてみんなのものです。



以上でお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

6. 主催者挨拶

土井 眞三 （関西交通経済研究センター 常務理事）



皆さんこんにちは、（公財）関西交通経済研究センターの常務理事をしています土井と申します。どうぞよろしくお願い致します。

今日は、皆様にはいろんな勉強をしていただきました。サンタマリアでは、ロープワーク体験、手旗信号体験、救命胴衣の着用体験などをしていただきました。また、外国航路の元船長さんの「海の大切さや船員の仕事」のお話も面白かったですね。日本に入ってくる輸入品の1位から6位までの品目を皆さんに答えてもらうための質問の仕方がすごく上手であったと思っております。そして、先ほど、海遊館の北藤先生より「大阪湾の生物について」のお話を非常に丁寧にわかりやすく、海の大切な事をいっぱいお話していただきました。

私たちの日本は、四方海に囲まれています。海から受ける恵はたくさんあります。魚介類などの食物の恵み、釣りとか海水浴といった遊びの癒しの恵、もう一つ、いちばん大事な地球環境といわれていますけど、気候とか、地球温暖化などについても海は非常に大切な役割をしております。

海の潮流は、世界中をクルクルまわって温度の調節をしているという役目もあるわけです。

従って、海は私達にとって大事な役目を果たしてくれていますので、次の世代、またその次の世代にきれいな海を残していくということが私達の務めであると思っております。

今日は、「海・船のお話会と海の世界学習や体験型見学会」ということで、東京にございます日本財団様からご支援をいただきまして、開催させていただきました。日本財団の皆様には心からお礼を申し上げます。

結びになりますが、大変お忙しい中、港区役所の筋原区長様にも駆けつけていただきました。先生方におかれましても、安全に引率をしていただきました。また、ラジオ関西の皆様には、進行役をお努めいただきました。改めて厚くお礼申し上げます。

そして、この体験型見学会にお力添えいただきました、大阪港振興協会、大阪市港湾局、近畿旅客船協会、近畿内航船員対策協議会、大阪市港区役所、大阪市教育委員会、近畿運輸局の皆様には心から感謝を申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

7. 準備資料

①募集チラシ

(表面)

大阪港を拠点に、小学5年生、6年生を対象に、大阪港を含めた海洋生物の生態系、絶滅品種などの学習を通じて、海の大切さや海洋環境の大切さを学びます。
又、参加小学校間の交流促進を図ると共に、普段見ることが出来ない旅客船内部の見学、船員さんの仕事の役割や重宝性などを学習すること併せ、海から見るいつもの違う目線からの大阪港や沿岸の街並みなどを体感することにより、広く海に関する知識の醸成を図ることを目的に開催します。

日時	平成29年6月29日(木)9:00~15:10
場所	大阪港内および天保山船客ターミナル、海遊館ホール
対象	5年生、6年生 約200名 (大阪市立聖港小学校、大阪市立港嘴小学校、大阪市立井天小学校)
実施内容	・学校紹介 ・大阪港内クルーズ(サンタマリア号) ・海洋学習「海の大切さと船員の仕事」(近畿内航船員対策協議会) ・環境学習「海をいかに守るか」(海遊館教育員) ・海の生物見学

主催：「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会
実行委員会構成メンバー
【公財】大阪府教育委員会、【一財】神戸国際教育協会、近畿運輸局、近畿内航船員対策協議会、関つがし船員、大阪府教育委員会、神戸市教育委員会、大阪府環境局、【公財】舞鶴湾環境情報センター
【関係】学芸員 近畿運輸局、神戸国際教育協会、大阪府教育委員会、神戸国際教育委員会、船おかし啓発事業委員会
企画事務局 総合センター 企画推進課 企画推進センター 〒530-0005 大阪市東区南船場1-7-2 TEL06-6543-8291

(裏面)

プログラム

8:30	各小学校	天保山船客ターミナルへの移動(貸付バス/徒歩)	
8:50	天保山船客ターミナル	天保山船着、乗客乗船ターミナルへ移動	
9:00	天保山船客ターミナル	オリエンテーション -乗付地乗務員挨拶 -天保山のジオパーク(船歴ふじ日記事業)の紹介	
9:10	天保山船客ターミナル	学校紹介 -各所属により各船の役割などを説明	学校紹介
9:45	天保山船客ターミナル	天保山船客ターミナルを巡る(徒歩)	
9:50	天保山船客ターミナル	サンタマリア号船中乗務員観察(各クラス乗)	
10:00	サンタマリア号	サンタマリア号乗船 -船長の挨拶 -サンタマリア号乗船 -船中乗務員観察 -乗務員の仕事	サンタマリア号乗船
11:00	サンタマリア号	サンタマリア号乗船 -各所属の紹介 -サンタマリア号船中オリエンテーション	
11:45	天保山船客ターミナル	サンタマリア号乗船(下船)	
12:00	天保山船客ターミナル	昼食(お弁当、各所属乗務員がふるまいます。)	
12:45	天保山船客ターミナル	海洋学習 テーマ：「海の大切さと船員の仕事」 船・港・天保山船客ターミナルの役割、船歴ふじ日記事業について	海洋学習
13:30	海遊館ホール	海遊館見学(各クラス乗)	
13:40	海遊館ホール	環境学習 テーマ：「大阪湾の自然について」 船・港・海遊館 観察員(近畿内航船員対策協議会)による説明	環境学習
14:15	海遊館	海遊館で海の生物見学	
15:10	天保山船客ターミナル	船中へ向け移動(貸付バス)	帰路移動

●参加者へのお願い
- 当日、見学等で印象に残った内容をハガキ裏面に鉛筆紙として絵や感想等を書いて頂き、小学校を通して事務局まで提出をお願いします。(ハガキは当日お配りします。)
- 報道機関へ公開するため、写真、映像等が報道されることがあることを予めご了承ください。

●その他
- 校外学習の一環とします。
- 小学校発着は貸付バスで送迎します。(一部小学校を除く)
- 費用的な負担はお掛けしません。(参加費、昼食、お茶など)
- 参加者全員、レジャー保険に加入します。
- 当日は、看護婦1名を配置します。

②参加者、スタッフ着用帽子

帽子見本 資料 18

※ピンク色の線はカットラインです。実物には線はありません。

日本 海と日本 PROJECT

原寸

小学生用
(正面白抜き)

スタッフ用
先生用(様)



③当日のしおり（プログラム）



サンタマリアのりば・コースのご案内

①サンタマリア号に乗ったこと、海で魚を見たこと、海遊館に行ってお魚を見たことなど、何でもよいので今日一日の中で楽しかったこと、発見したことなどを絵手紙やアンケートで、担任の先生に出して下さい。



②今日参加してくれた小学生は、かんたんアンケートをお返しいして頂けます。各々担任の先生に出して下さい。

*絵手紙とアンケート用紙は、学校で担任の先生から配ります。

「海学び舎」あらかると啓発事業



海・船のお話会と海の世界 学習や体験型見学会



平成29年6月29日(木)開催
大阪港天保山岸壁周辺および大阪港内

主催：「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会（以下、実行委員の略称メンバー）
（公社）大阪港振興協会、（一社）神戸港振興協会、近畿旅客船協会、神戸旅客船協会
近畿内航船員対策協議会、大阪市港海局、神戸市みなと総局、大阪市港区役所、（株）ラジオ関西
（公財）関西交通経済研究センター

後援
大阪市教育委員会、神戸市教育委員会、南あわじ市教育委員会
国土交通省近畿運輸局、国土交通省神戸運輸監理部

8:30 🚌 小学校を出発

8:50 天保山船客ターミナル集合

9:00 主催者あいさつ
オリエンテーション

9:20 📷 集合写真を撮ろう①(サンタマリア号前)

9:40 🚢 サンタマリア号乗船

船内見学

救命胴衣着用体験

手旗信号体験

ロープワーク体験

船長のお話

*班に分かれて順番に体験してもらいます。

11:00 🚢 サンタマリア号で大阪港クルーズへ出港(45分間)

いつもとは違う、海の上から大阪港を見てみよう。荷物を運ぶコンテナ船、人を運ぶフェリー、船をひっぱり上げるタグボートなど、色々な船が海を行き交っているのを見てみよう。船の中ではクイズラリーにチャレンジしよう!!

11:45 🚢 大阪港に帰港、下船

11:55 🍴 おひるごはん(お弁当)

12:30 📄 各校 学校紹介(弁天、築港、港晴小学校)

12:45 📄 海洋学習(30分間)
「海の大切さと船員の仕事」
上塚さん(近畿内航船員対策協議会)

かつて貨物船の船長をされた方から、海に囲まれた日本にとっての海洋貿易の大切さや、船で働くことの面白さについてお話をしてもらいます。ざっと海や船にかかわる仕事に色々な発見がありますよ。

13:30 📷 集合写真を撮ろう②(海遊館前)

13:40 📄 環境学習(30分間)
「大阪湾の生物について」
北藤さん(海遊館 飼育展示部)

みんなの住んでいる地域の海についてお話してもらいます。港区の海にはどんな生き物が住んでいるのか？港の海の底はどのようなになっているのか？海遊館の方から分かりやすく説明してもらいます。その他にも、海遊館で飼育している海の生物についても色々なことを教えてもらいます。

14:10 📄 海遊館の見学

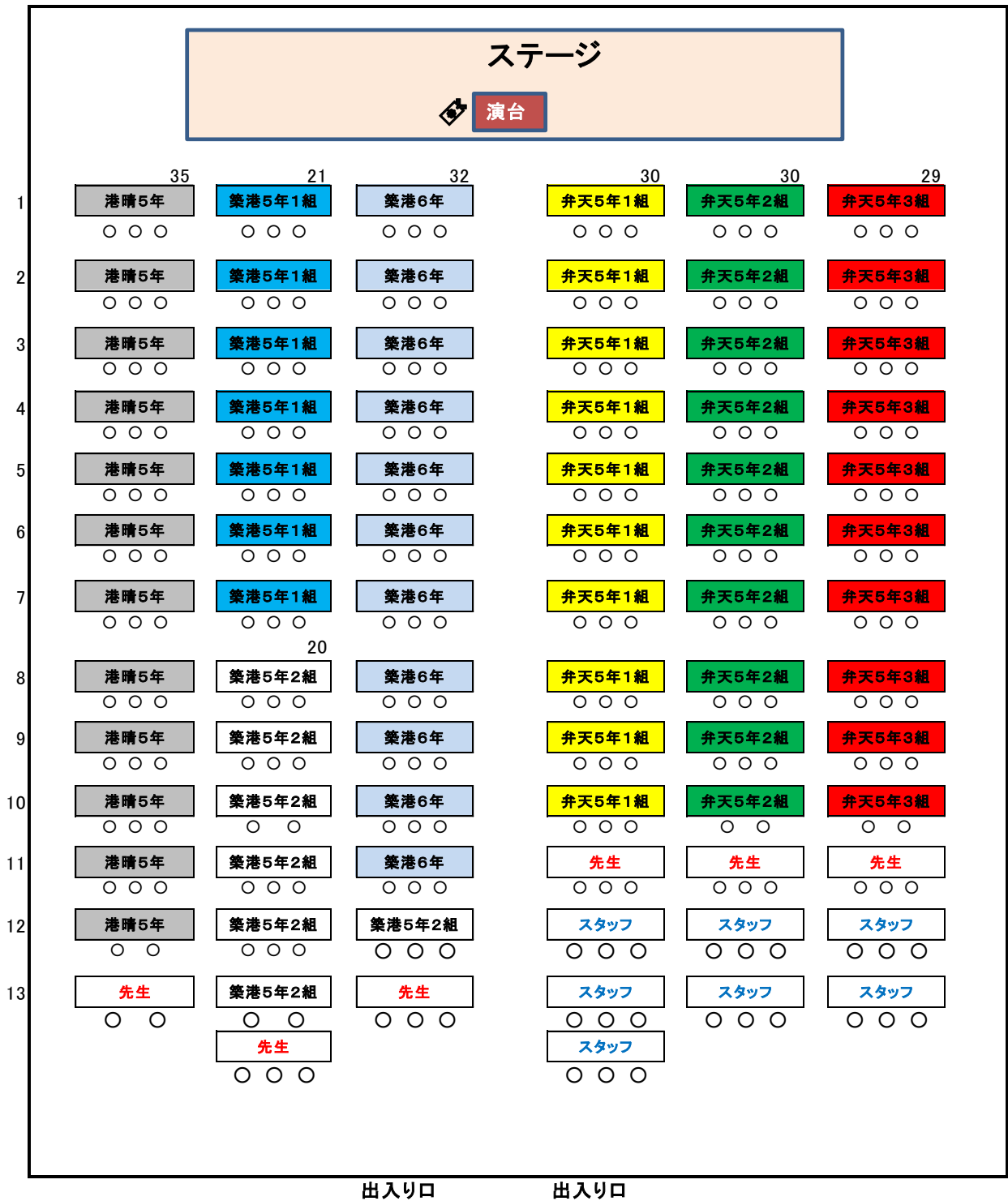
いよいよ待ちに待った海遊館へGO!
「環境学習」で聞いた海遊館の飼育員さんのお話を思い出しながら、海の生物の観察をしてみよう。気づいたことは、「探検ノート」にどんどん書き込もう!!

15:10 🚌 海遊館を出発(各校、学校にて解散)

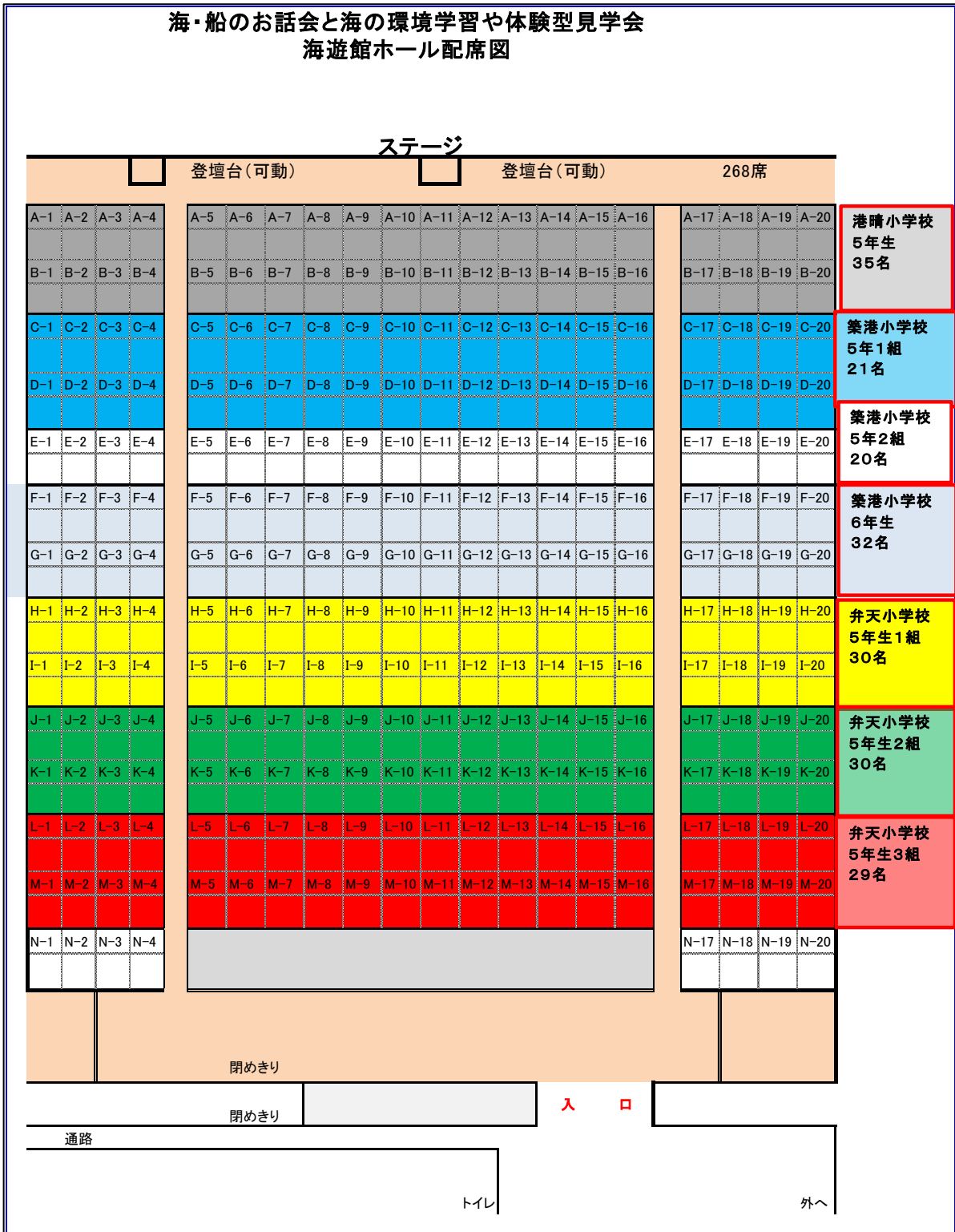
当日の持ち物
①リュックサック、②水筒、③雨具(かさなど)、④筆記用具、⑤汗ふきタオル
*昼食のお弁当、お茶は主催者よりお配りします。
*当日、船酔い心配な人は、酔い止め薬を飲んで下さい。

④天保山船客ターミナル座席図

天保山船客ターミナル座席配置図



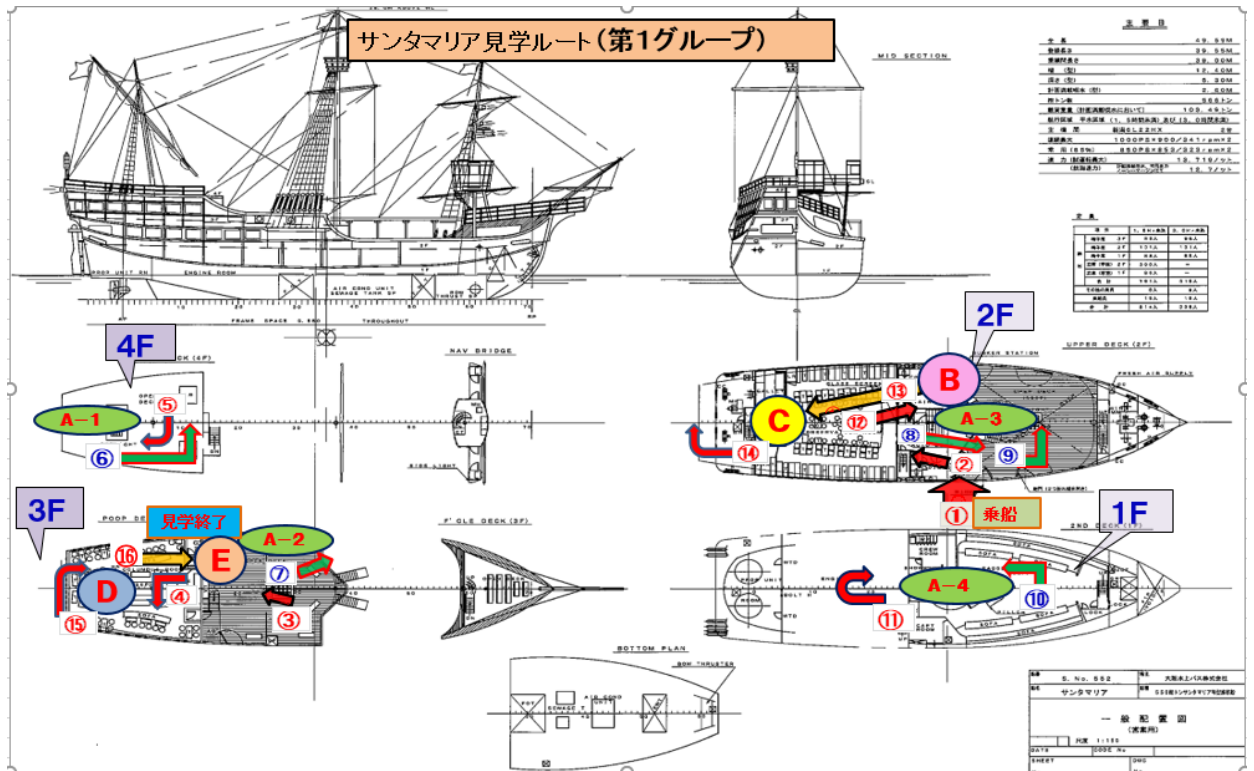
⑤海遊館ホール座席図

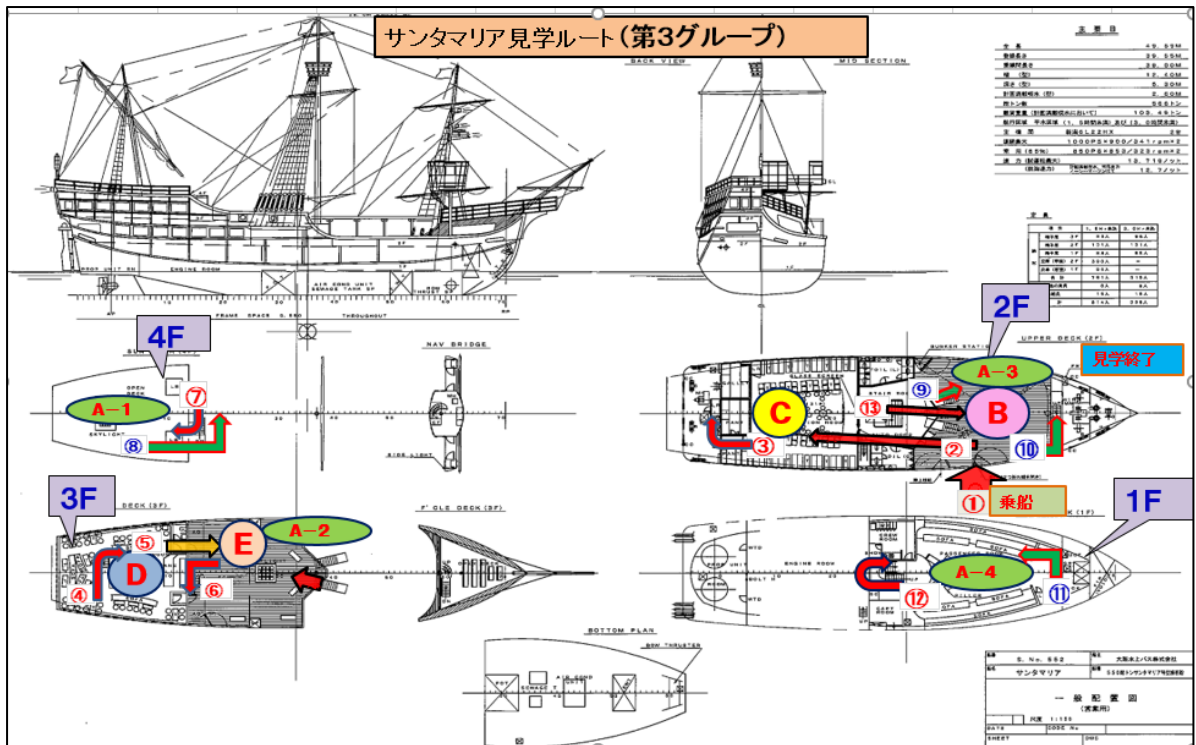
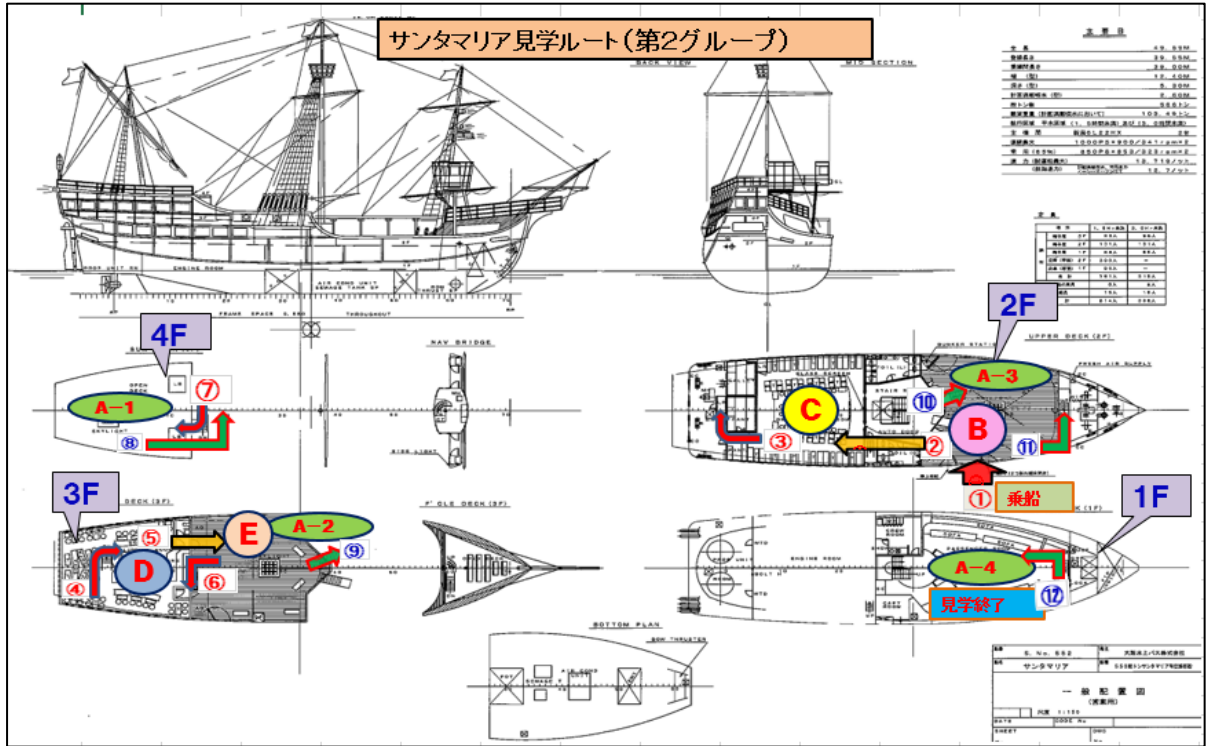


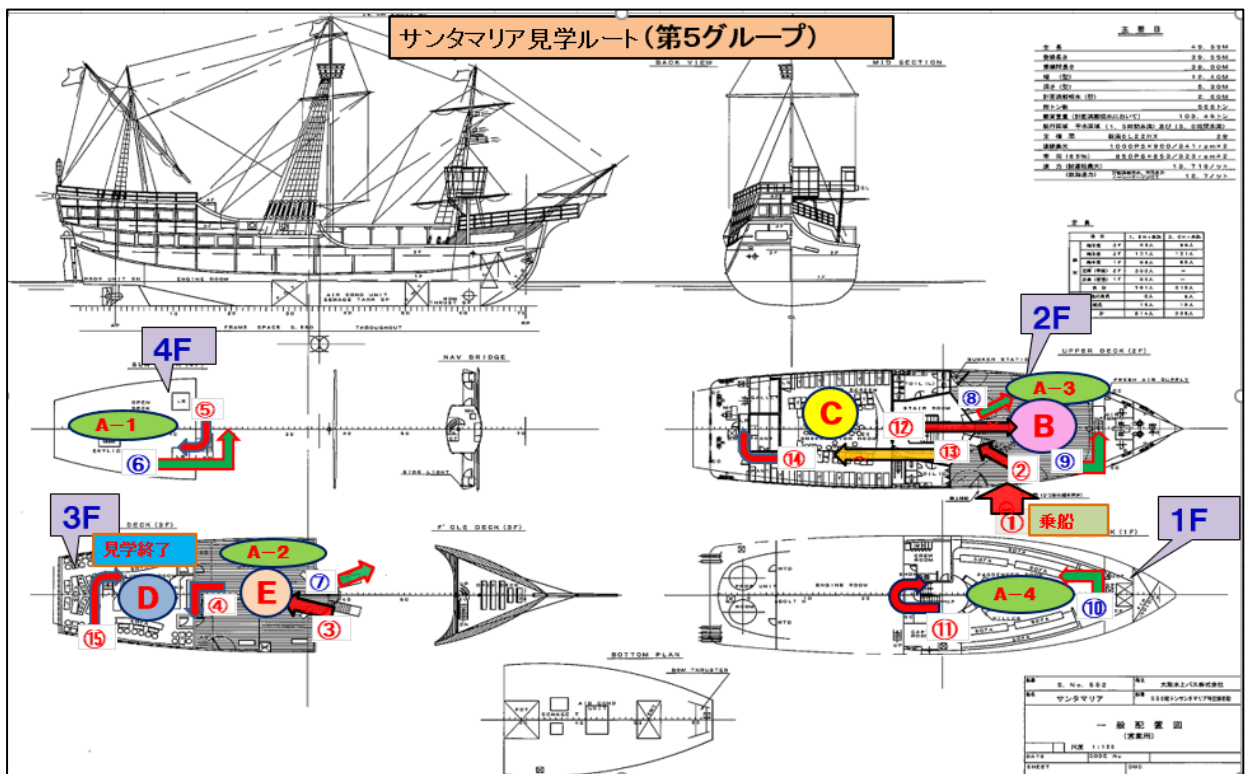
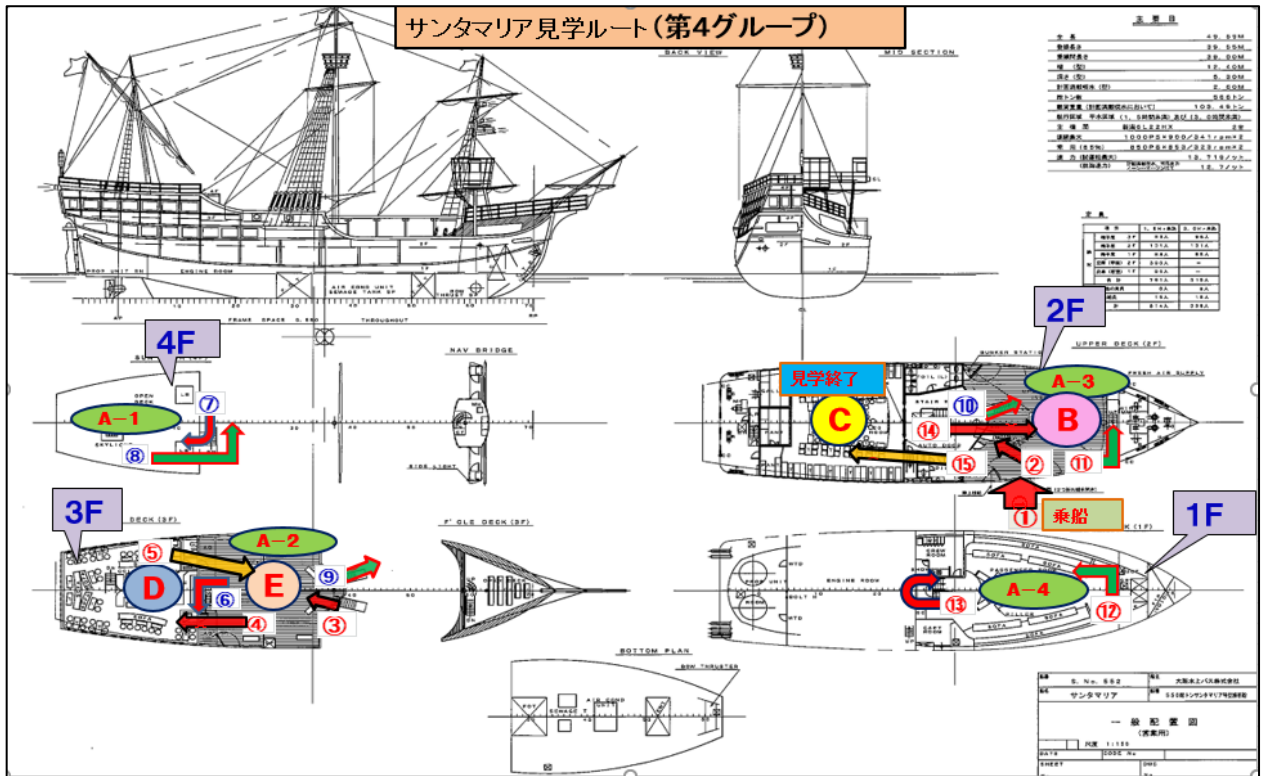
⑥サンタマリア見学要領

サンタマリア見学要領案		海・船のお話と海の環境学習や体験型見学会の開催	
1. 実施日時 2017年6月29日(木) 2. 実施場所 サンタマリア船内 3. 参加者 港晴小学校(5年) 35名 築港小学校(6年) 32名 築港小学校(5年) 41名 弁天小学校(5年) 89名 4. 船内見学コース		※弁天小学校は2グループに分けて頂く。(44名・45名) ※サンタマリアは、9:15天保山回航予定。	
		10:50より 一般客の 乗船開始	
		11:00より クルーズ	
A	船内見学(10分) ↓	各フロア 4F船尾見学 → 3F見学経由 → 2F見学経由 → 1F見学(灯火、レーダ等備品)	サ5+陸員(補助) (竹田・見澤・加々良)
B	手旗信号(10分) ↓	2Fデッキ 手旗信号の説明及び体験(クイズ形式を検討中) 雨天:1F船室	サ3+陸員(補助) (坂上・藤村)
C	救命胴衣(10分) ↓	2F船室 救命胴衣を2人1組で装着体験	サ4+陸員(補助) (中野・中村)
D	船長講話(10分) ↓	3F特別室 海運の重要性、サンタマリアや乗組員の仕事紹介等	サ1+陸員(タイムキーパー) (久保・中嶋)
E	ロープワーク(10分) ↓	3Fデッキ 数種類のロープの結び方等の体験 雨天:2Fデッキ	サ2+陸員(補助) (明治・豊田・大山)
		写真撮影順番 9:20~9:40 9:40~9:50 移動 0:04 9:54~10:04 移動 0:04 10:08~10:18 移動 0:04 10:22~10:32 移動 0:04 10:38~10:45	
第1グループ	港晴小学校(5年) 5	A 船内見学 → B 手旗信号 → C 救命胴衣 → D 船長講話 → E ロープワーク → クイズラリー等	
第2グループ	築港小学校(5年) 4	B 手旗信号 → C 救命胴衣 → D 船長講話 → E ロープワーク → A 船内見学 → クイズラリー等	
第3グループ	築港小学校(6年) 3	C 救命胴衣 → D 船長講話 → E ロープワーク → A 船内見学 → B 手旗信号 → クイズラリー等	
第4グループ	弁天小学校(5年)① 2	D 船長講話 → E ロープワーク → A 船内見学 → B 手旗信号 → C 救命胴衣 → クイズラリー等	
第5グループ	弁天小学校(5年)② 1	E ロープワーク → A 船内見学 → B 手旗信号 → C 救命胴衣 → D 船長講話 → クイズラリー等	
※各コースに乗組員1名プラス陸員1名の計2名で実施した方が、案内等もスムーズに出来ると思います。当日担当の陸員は、予め少し勉強するようにしたら補助も出来ると思います。各プログラムは10分(最終9分)にて実施。なお、1分前に告知を行い各組当は速やかにまどめに入ること。			

⑦サンタマリア見学順路







⑧サンタマリア 探検問題 (5年生)

日 時：平成29年6月29日(木)
海・船のお話会と体験乗船見学会。

サンタマリア号たんけん問題の答え (5年生)

() 小学校 5年 組 名前 _____

サンタマリア号の船内を探検して、次の問題に答えてください。

ヒントは、船内を探検すると説明文が書いてあります。わからない場合は船員さんに聞いてくださいね。

第1問 海面から22.5メートルの高さがあり、サンタマリアの船後部に装備されているマストを何というでしょうか？
(ミズン) マスト。

第2問 船の航海に必要で、方位を測定する機材がありますが、その種類を二つ挙げてください。
(磁気(じき) 又は マグネット) コンパス (シャイロ) コンパス。

第3問 夜間や視野の悪いときに、周りの船に自分の船の進む方向を知らせるために点けられている燈火を何というでしょうか？
(航海(かうかい)) 灯。

第4問 大型の帆船ほど長く、また、高速航行する船ほど上向きに設置される、サンタマリアの先端に取り付けられたマストを何というでしょうか？
(ハウスプリット) 。

第5問 サンタマリアの指揮を行う場所で、船長や航海士によって船の操船や見張りが行われる場所を何というでしょうか？
(船橋(せんきょう) 又は 操舵室(そうだしつ) 又は フリッジ) 。

第6問 サンタマリアの船の大きさ(総トン数)は何トンでしょうか？
(566) トン。

第7問 船が海を航海するときに使用される、海の地図のことを何というでしょうか？
(海図(かいず) 又は チャート) 。

第8問 船が動くためのエンジンや、船内の電気を作る発動機などが備え付けられている部屋を何というのでしょうか？
(機関(きかん)) 室 又は (エンジン) ルーム。

第9問 大航海時代に陸の見えない海原を船が航海する時、船の位置を調べるときに使う星や月の高さなどを計測するために使用される道具を何というのでしょうか？
(六分儀(ろくぶんぎ)) 。

第10問 時計がなかった昔、船の中で時間を知らせるために使用した鐘を何というのでしょうか？
(号鐘(ごうしょう)) 。

みなさん、サンタマリア船内の探検はできましたか？問題は難しかったかな？

また、サンタマリアで探検をしてください。

(6年生)

日時：平成29年6月29日(木)
海・船のお話と体験乗船見学会

サンタマリア号たんけん問題(6年生)

() 小学校6年 組 名前

サンタマリア号の船内を探検して、次の問題に答えてください。

ヒントは、船内を探検すると説明文が書いてあります。わからない場合は船員さんに聞いてくださいね。

第1問 船の航海に必要で方位を測定する機械にジャイロコンパスがありますが、その原理はフランスの物理学者のフーコが発見したものでした。その原理は「高速で回転するコマの軸は」どのようになる原理でしょうか？

高速で回転するコマ(の軸)は(宇宙空間において、常に一定の方向を目指す)という原理。

第2問 帆船に使用されているミスンマストはどここの位置にあり、何をやる役目でしょうか？

場所(船の船後尾)。
役目(船を方向転換させるときに、最初にマストの帆の向きを変える)。

第3問 サンタマリアの先端に取り付けられたバウスプリットの長さは何メートルでしょうか？
(9.5)メートル。

第4問 サンタマリアの船の大きさ(総トン数)は何トンでしょうか？
総トン数(566)トン。

第5問 現在のように航海するための機械がまだ発達していない大航海時代に、星の高さ(角度)や太陽の角度を測る道具として使われていたものを何というのでしょうか？
(六分儀(ろくぶんぎ))。

第6問 船には夜間航海するために、自船の向きを他船に知らせるための灯火(航海灯)が装備されていますが、船の右側を表す右舷灯及び左側を表す左舷灯の色は、それぞれ何色でしょうか？
右舷灯(緑)色 左舷灯(赤)色。

第7問 サンタマリアの船橋(ブリッジ)はどのような事をやる場所でしょうか？
(船全体を指揮し、船長や航海士が操船や見張りをする場所)。

第8問 サンタマリアの中央にある一番高いマストは何マストで、また、高さは何メートルでしょうか？
マスト名(メイン)マスト 高さ(28)メートル。

第9問 航海のために海の、海図(チャート)がありますが、地図には何が表現されているのでしょうか？
3つ答えてください。

(水路の状況)(海の深さ)(海底の質)(海岸の地形)(灯台の位置)など。

第10問 時計がなかった時代に船内で時刻を告げるために使われていたものを何というのでしょうか？ また、お昼の12時丁度にはそれを何回鳴らすでしょうか？
道具名(号鐘(ごうしょう)) 12時の回数(8)点鐘。

みなさん、サンタマリア船内の探検はできましたか？問題は難しかったかな？

また、サンタマリアで探検をしてください。

Ⅱ. 海と日本プロジェクト

神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会

1. 実施概要

海洋国日本の国づくりやまちおこしを担う、次世代の小学生の皆さんに、海の大切さと海の魅力を知ってもらい、海の恩恵に感謝し、併せて、広く海洋についての理解と関心を深めてもらうことを目的に、神戸市小学生と南あわじ市小学生を対象に、海から神戸港を観察し、行き交う船舶や陸上施設等を学習し、また、神戸海洋博物館において、神戸の海、船、港の過去、現在、未来を体験学習することにより、海に親しみ、海洋環境を守ることの重要性を考える「神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会」を開催した。

・実施場所	神戸港及び神戸海洋博物館		
・実施日時	平成29年7月6日(木)	09:00~14:40	
・参加者	208名		
	神戸市立大池小学校	5年生	45名
	神戸市立長田小学校	5年生	45名
	南あわじ市立市小学校	5年生	28名
	南あわじ市立賀集小学校	5年生	28名
	南あわじ市立倭文小学校	5年生	11名
	南あわじ市立西淡志知小学校	5年生	6名
	南あわじ市立湊小学校	5年生	10名
	南あわじ市立三原志知小学校	5年生	2名
	南あわじ市立八木小学校	5年生	33名

(1) 神戸港内クルーズの実施(約70分)

① 使用船舶

神戸ベイクルーズ「ロイヤルプリンセス」

総トン数：414G/T(トン)

旅客定員：500名



② コース

神戸中突堤発→ポートアイランド

→六甲アイランド →神戸空港沖→神戸中突堤着

③ 神戸港内の説明

森田潔氏：一般社団法人神戸港振興協会参事

みなとまちづくりマイスター(一般社団法人ウォーターフロント協会認定)

④ クルーズの概要

- ・最初に中突堤を出航した船は、人工島のポートアイランドと神戸市街を結ぶ神戸大橋の下をく

ぐり東進し、神戸港内の定期観光クルーズでは見ることが出来ないコースを航行した。

- 中古車オークション会場のある埠頭では、大きな自動車運搬船が接岸していて、そこから日本の中古車が世界に輸出されているとの説明を受け、また、穀物や野菜を扱う埠頭では、私達が普段口にする様々な食糧が神戸港に荷揚げされているとの説明をして頂いた。普段の生活に身近な品物の輸出入の話に、参加児童も熱心に耳を傾けていた。



- その後、人工島ポートアイランド東岸を南下し、ガントリークレーンが林立するコンテナ埠頭で荷役している大型コンテナ船に近づき、迫力ある荷役風景を間近に見ることが出来た。森田参事からは、ガントリークレーンや防舷材一機の値段はいくらかというクイズも飛び出し、児童が答えた値段をはるかに上回るその値段に、参加者は驚きの声を上げていた。



- 船は神戸空港の南側を西に向けて航行している途中、タイミング良く神戸空港を離着陸する飛行機に遭遇し、普段は見ることが出来ない、海からの迫力ある離着陸シーンに児童は大喜びしていた。

- 最後に、神戸港第一関門を通過して港内に帰って来た船は、川崎重工株式会社神戸工場のドックに海側から接近し、建造中の最新鋭の潜水艦を直ぐ近くから望むことが出来た。今回特別に低速でドックに接近して頂いたこのシーンでは、児童のみならず、教職員や関係者もが身を乗り出すようにして、生で見る潜水艦の全景に目を輝かせていた。



- 航行中は森田参事の解説に耳を傾けながら、普段とは異なる海からの神戸の街並みや港の役割、そして、海を行き交う様々な船に、参加者は頷いたり驚いたりしながら、海を知り、海からの恩恵を感じることが出来た実りある 70 分間を、神戸港クルーズを通じて実施することが出来た。

(2) 学校紹介

交流学習会の一環として、南あわじ市と神戸市から参加した合計 9 校による学校紹介を実施した。

今回参加した小学校の 5 年生の人数は、多い学校で 45 名、少ない学校で 2 名と規模は様々であったが、小道具あり、合唱あり、クイズあり、そして、地元の伝統工芸の紹介や縄跳びの実演まで飛び出すなど、各校とも児童が自発的に発表方法や内容に工夫を凝らして臨み、お互いの地域や学校を知ることが出来、笑顔溢れる楽しいひと時を過ごすことが出来た。



(3) 神戸海洋博物館とカワサキワールドの見学

午後からは、異なる学校の仲間と共に考え、共に学び、そして、神戸港の役割と歴史、そして広く海について親しんでいただく為、9校混合で35班（1班6名）に分かれ、神戸海洋博物館とカワサキワールドの見学を行った。

神戸海洋博物館は神戸港をテーマにした海運、海洋、海の歴史の総合的な学習の場であり、カワサキワールドは造船を初めとした神戸の総合メーカー、川崎重工業株式会社の企業ミュージアムであって、展示内容により関心を持っていただく為に、班単位で館内クイズラリーに挑戦していただいた。各班とも難問に悪戦苦闘しつつも、班の仲間と協力し、相談しながら、ヒントの書かれた展示案内図などを探して、解答を見つけていた。



(4) 交流クイズ大会

神戸海洋博物館見学の後は、班対抗で二者択一の〇×クイズ大会を行った。

午前中の神戸港クルーズ、午後の神戸海洋博物館などの見学を通じて、「見て」、「聞いて」、「触れて」、「学んだ」中からクイズを出し、班の仲間と答えを考えていただいた。

クイズの内容は、南あわじ市と神戸市の児童が共に考えることが出来るよう、淡路島や神戸市にまつわるクイズを織り交ぜたものを出題し、中には班内で意見の分かれる問題もあり、初めて会った仲間でありながらも、制限時間内に答えをまとめなければならないスリルと交流の過程を、心一杯楽しんでいた。



(5) 海学び舎絵手紙の作成

① 参加者から、「海学び舎絵手紙」（はがきサイズ）を当センター宛てに送付していただくようお願いしたところ、参加小学校単位でとりまとめ下記枚数の送付があった。

・絵手紙総数	323枚	・内訳（別添絵手紙参照）
	神戸海洋博物館	141枚
	ロイヤルプリンセス及び神戸港	182枚

②絵手紙展示

神戸海洋博物館（管内1階展示会場に展示）



2. 参加小学校及び参加者数

平成29年度「海学び舎」あらかると啓発事業 参加小学校一覧									
神戸関係									
	学校名	〒	住所	Tel	参加学年	参加児童数	引率教員数	参加者合計	備考
1	神戸市立大池小学校	651-1201	神戸市北区西大池2-24-1	078-581-8032	5年	45	4	49	
2	神戸市立長田小学校	653-0862	神戸市長田区西山町2-4-1	078-631-2731	5年	45	4	49	
3	南あわじ市立市小学校	656-0478	南あわじ市市福永345-1	0799-42-0114	5年	28	2	30	
4	南あわじ市立賀集小学校	656-0514	南あわじ市賀集1000	0799-54-0004	5年	28	2	30	
5	南あわじ市立倭文小学校	656-0153	南あわじ市倭文庄田250	0799-46-0009	5年	11	3	14	
6	南あわじ市立西淡志知小学校	656-0326	南あわじ市志知南16	0799-36-3555	5年	6	2	8	
7	南あわじ市立湊小学校	656-0331	南あわじ市湊里1502-1	0799-36-2104	5年	10	2	12	
8	南あわじ市立三原志知小学校	656-0484	南あわじ市志知佐礼尾9-1	0799-42-3109	5年	2	1	3	
9	南あわじ市立八木小学校	656-0444	南あわじ市八木大久保590-1	0799-42-0128	5年	33	2	35	
						208	22	230	

※帽子 神戸小学校は、212名を6名1班で色分け(35班)

3. 神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会実施状況写真

平成29年7月6日(木)実施

【ロイヤルプリンセスによる神戸港周遊】

集合写真



船内の状況



オリエンテーション

【神戸海洋博物館ホール】オリエンテーション



【学校紹介】



大池小学校



長田小学校



市小学校



賀集小学校



倭文小学校



西淡志知小学校



湊小学校



三原志知小学校



八木小学校

【神戸海洋博物館展示室】



1階展示室



1階展示室



3階展示室



1階 カワサキワールド

【〇×クイズ大会】



第2問



第5問



第14問



優勝グループ



閉会挨拶

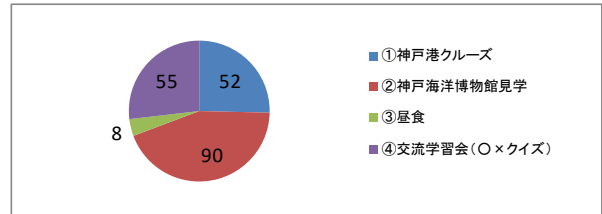
4. アンケート結果

「海学舎」あらかると啓発事業

神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会アンケート集計

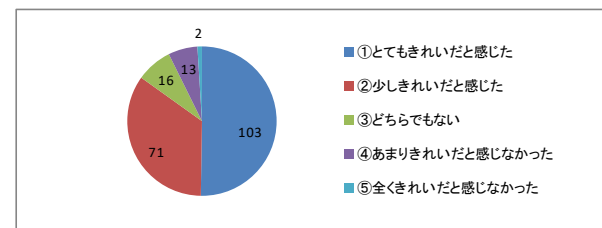
問1 今日のイベントで一番面白かったところは何ですか。

	神戸全校
①神戸港クルーズ	52
②神戸海洋博物館見学	90
③昼食	8
④交流学習会(〇×クイズ)	55
⑤その他()	
合計	205



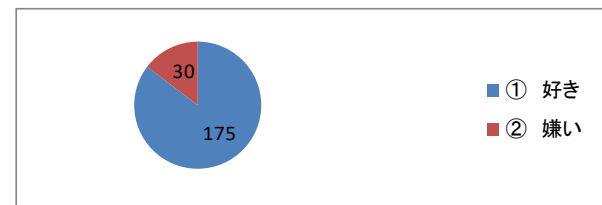
問2 海はきれいだと感じましたか。

	神戸全校
①とてもきれいだと感じた	103
②少しきれいだと感じた	71
③どちらでもない	16
④あまりきれいだと感じなかった	13
⑤全くきれいだと感じなかった	2
合計	205



問3 あなたは海が好きですか。

	神戸全校
①好き	175
②嫌い	30
合計	205

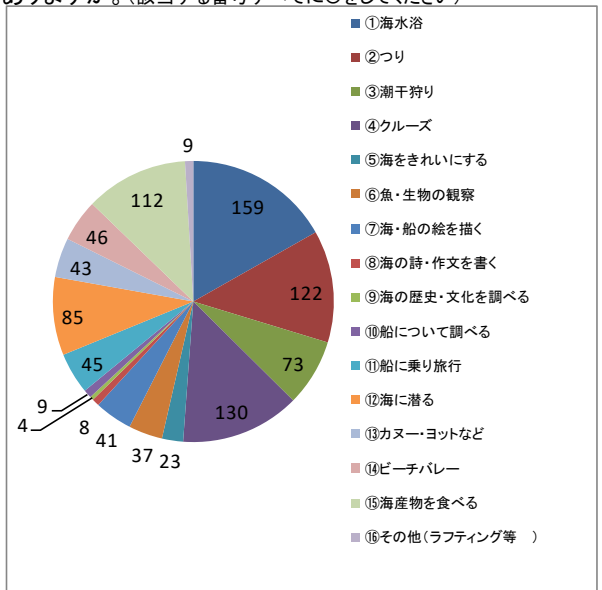


問4 問3で答えた理由についてどんなところが好き・嫌いですか。教えてください。

最後尾参照

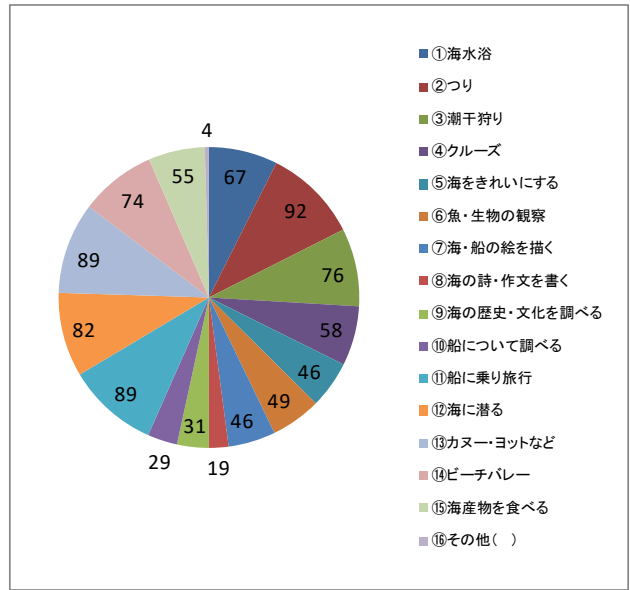
問5 あなたはこれまで、海でどのような体験をしたことがありますか。(該当する番号すべてに○をしてください)

	神戸全校
①海水浴	159
②つり	122
③潮干狩り	73
④クルーズ	130
⑤海をきれいにする	23
⑥魚・生物の観察	37
⑦海・船の絵を描く	41
⑧海の詩・作文を書く	8
⑨海の歴史・文化を調べる	4
⑩船について調べる	9
⑪船に乗り旅行	45
⑫海に潜る	85
⑬カヌー・ヨットなど	43
⑭ビーチバレー	46
⑮海産物を食べる	112
⑯その他(ラフティング等)	9
合計	946



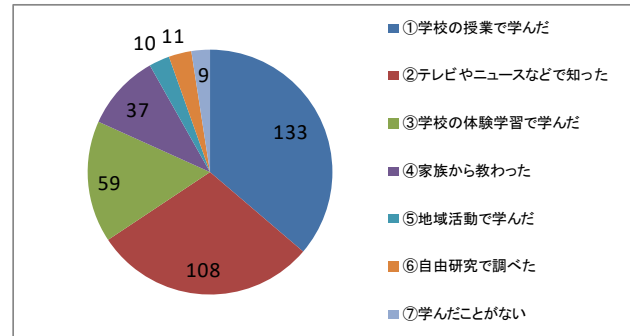
問6 あなたは今後、海でどのような体験をしたいと思いますか？

	神戸全校
①海水浴	67
②つり	92
③潮干狩り	76
④クルーズ	58
⑤海をきれいにする	46
⑥魚・生物の観察	49
⑦海・船の絵を描く	46
⑧海の詩・作文を書く	19
⑨海の歴史・文化を調べる	31
⑩船について調べる	29
⑪船に乗り旅行	89
⑫海に潜る	82
⑬カヌー・ヨットなど	89
⑭ビーチバレー	74
⑮海産物を食べる	55
⑯その他()	4
合計	906



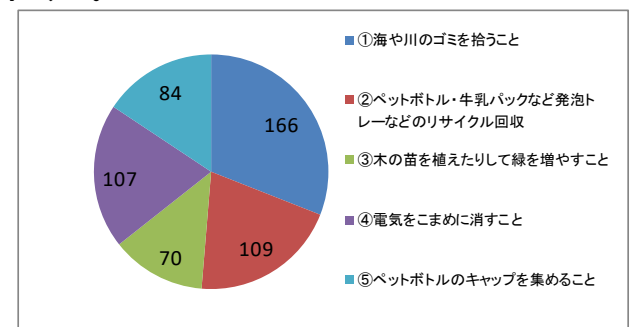
問7 エコ(環境問題)について学んだことがありますか。

	神戸全校
①学校の授業で学んだ	133
②テレビやニュースなどで知った	108
③学校の体験学習で学んだ	59
④家族から教わった	37
⑤地域活動で学んだ	10
⑥自由研究で調べた	11
⑦学んだことがない	9
⑧その他()	5
合計	372



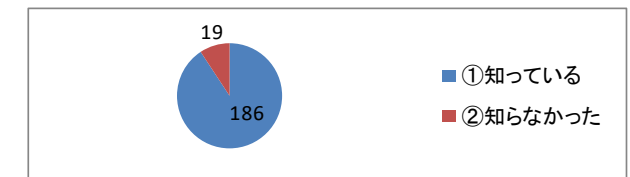
問8 エコ活動で皆が取り組めば良いのと思う活動は何ですか。

	神戸全校
①海や川のごみを拾うこと	166
②ペットボトル・牛乳パックなど発泡トレーなどのリサイクル回収	109
③木の苗を植えたりして緑を増やすこと	70
④電気をこまめに消すこと	107
⑤ペットボトルのキャップを集めること	84
⑥その他()	1
合計	537



問9 あなたは海の日を知っていますか。

	神戸全校
①知っている	186
②知らなかった	19
合計	205



問4	(海が好き、嫌いの理由)
好き	きれいな色と船の通ったあとの白くなっているところ
	船で海を通ったときに出来る波が好き
	海は青くてきれいだし、波があるところ
	海風が気持ちよかった
	海はとても広くて、何処までも続きそうが好き
	一面に広がる海を見ると落ち着くから
	夕日が差し込むときれいだから
	キラキラ光っていて、夏に見たら涼しくなれるから
	見つめると気持ちいいから
	いろいろな白だったり青だったりして、見ていると落ち着くから
	海は冷たく気持ちいい
	波がキラキラしているからとても好き
	海はキラキラしていて素敵できれいだから
	空気と景色がいいところが好き
	海のおいが好き
	淡路の方の海がきれいだから
	波が来て面白い
	ぶかぶかしているところが好き
	夜に海ほたるが光るところが好き
	海の景色がきれいだから
	波がきれいだったの、そこが好き
	海は楽しい
	海はたくさん自然があるから
	海がエメラルドグリーン色で、泳いでいる熱帯魚とか魚がいるから
	透明感があるから
	青色がたくさん広がっていて、とてもきれいだからです。暑いときに海の水がかかったら気持ちいいから
	魚やきれいな海が見えるから好き
	魚がいっぱいいるから
	魚が好きだから
	魚たちもかわいいから
	面白い海藻などがあるから好き
	海で捕れるマグロやその他の物もいるので海が好き
	色んな生き物が海にはいっぱいいる。
	恵があるところ
	潜ったら魚などがいて、気持ちいいから
	イルカがいるから
	色んな生き物や海藻も見れる
	日によって海の波の音が変わるし、すごく晴れているときは海の水もきれいな青になっているから
	すごくきれいだし、暑いときに見ると、見ているだけで涼しくなる。潮で泡ができたりして、「シュワー」と音がするところが好き。
	泳げるから
	海水浴ができるところが好き
	きれいで心も体も軽くなるから
	海を見ていると海のおいがしてきて、リラックス出来るから好き
	釣りができる。楽しいから
	海にはシュノーケリングができる。
	小さいときに行って楽しかったから好きになりました。
	夏に飛び込んだりするのが楽しいから
	魚釣りやバーベキューが出来るから
	おいしい魚がとれる、食べ物おいしい
	海では遊んだり、ビーチバレーが出来るから
よく釣りにお父さんと行くから何となく好きになった	
釣りをしたときにいっぱい魚が釣れてとても楽しかった	
海水浴が気持ちいいのと、お金がかからない	
私は海は好きではないけど、船に乗って見て色んな海や船の歴史が分かったので楽しかったです。地震のことも分かりやすかったです。	
船に乗るのも好き	
海はずっと続いているので、もっと知りたいと思いました。	
海を見ていると海の思い出が頭の中に浮かんでくる	
見たことのないものに会える	
大きな船などがあって好きだから	
神戸海洋博物館では、違う学校の子と協力するのがよかった。	
最初あまり好きではなかったけど、いろいろ教えてもらったことで好きになった。	
嫌い	海はサメやクラゲがいるから嫌い
	変な生き物がいたり、毒のある生物がたまにいるから
	海に入ると海の塩とかで体が痛くなったり体がかゆくなるから
	溺れる、波がこわい
	海はゴミだらけで汚れているから
	海の水を飲んでしまうと塩からい
	海で泳ぐと海水が入ってくるから
	海に入ると砂が目に入ったり、水を飲んだりしていやだから。
	入ってしょっぱいから
	海中はこわい生物がいるから
海の臭いが嫌いだから、しょっぱいから。	
海は泳ぐと海藻がプカプカ浮いていて気持ち悪いから	

5. 交流学習会（会場：神戸海洋博物館ホール）

（1）オリエンテーション

司会：ラジオ関西（株）パーソナリティー 上原 伊代

（2）開会の挨拶

（一社）神戸港振興協会 専務理事 片山 昌俊

（3）学校紹介（発表順）

- ・神戸市立 大池小学校 5年生
- ・神戸市立 長田小学校 5年生
- ・南あわじ市立 市小学校 5年生
- ・南あわじ市立 賀集小学校 5年生
- ・南あわじ市立 倭文小学校 5年生
- ・南あわじ市立 西淡志知小学校 5年生
- ・南あわじ市立 湊小学校 5年生
- ・南あわじ市立 三原志知小学校 5年生
- ・南あわじ市立 八木小学校 5年生

（4）〇×クイズ大会

（5）閉会の挨拶

（公財）関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三

【開会の挨拶】

(一社) 神戸港振興協会
専務理事 片山 昌俊 氏



皆さんこんにちは。神戸港振興協会の片山でございます。主催者を代表いたしまして開会のご挨拶を申し上げます。

先ほど、クルーズ船で神戸港を見ていただきましたがどうでしたか。今日は、神戸市の小学校2校と、南あわじ市の小学校7校併せて9校の5年生208人の皆様をお招きして学習交流会ということで開催させていただいております。天気も梅雨の時期であり心配しておりましたが、雨もなく晴れて良かったと思っております。

神戸という街は、船に乗って見ていただきましたように、港から街が発展してきておりまして、港をとおして様々な物資や食べ物を含めて交易をしております。その輸出入の99.7%が港から貨物が入ってくるということですので、そのあたりを実際に船から港沿岸の物流施設やクレーンなどを見ていただいて、勉強になったのではないかと考えております。

また、船の種類につきましても、遊覧船、コンテナ船、内航フィーダー船、一般貨物船、タンカーなど様々な船が神戸港を往来しております。

最近では、クルーズ客船といいますが、世界一周の旅をするという客船も神戸港が母港になっていまして、年間100隻ほど神戸港に入ってきております。そういったことも含めて勉強していただいて、是非、これからの学習に役立てていただきたいと思っております。また、今回は神戸市の小学生と南あわじ市小学生の方が一緒に来ていただいておりますので、いろんな場で交流をしていただいて、お友達になるきっかけづくりをしていただけたらと思っております。

今日の資料の中に「うちわ」が入っておりますが、見ていただくと、神戸港は1868年に港が開港してからちょうど今年で150年にあたります。その関係で、今年1年かけていろいろなイベントを行っていますが、その中でも「海フェスタ神戸」ということで、7月15日から海に関するイベントが始まります。

例えば、帆船が数隻神戸港に集まり、パレードや夜のライトアップ、船内見学等を行っておりますので、ぜひ、神戸港に足を運んでいただきますようお願いいたします。また、神戸港で毎年花火大会を行っており、今年は8月5日(土)に実施しますので、是非来ていただきたくお願い致します。

今日は、1日という短い時間ではありますが、体調に気を付けていただいて、たくさんのことを学んでいただき、帰られてからもご家族の方にお話ししていただいて、また、神戸港に遊びに来ていただけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

それでは、今日一日楽しんで勉強をしてください。

【学校紹介】（概要） （発表順）

1. 神戸市立大池小学校（5年生）

私たちは、神戸市立大池小学校5年生です。今日は、皆様と出会うことをとても楽しみにして来ました。今日は、大池小学校のことをクイズ形式で紹介したいと思います。

第1問

大池小学校は、六甲山のすぐ近くにあり、山に囲まれた自然豊かな学校です。大池小学校は、スモモやキウイなど実のなる木がたくさん植えられている「緑の風ランド」というところがあります。そこには池があり、絶滅危惧種の生き物もいます。さて、何でしょう？

- ①オオサンショウウオ
- ②イモリ
- ③カエル

正解は、③のカエルです。「緑の風ランド」には、モリアオガエルという絶滅危惧種の珍しいカエルがいます。毎年、泡で包まれた卵を木に産みます。



第2問

大池小学校は、マスコットキャラクターがいます。それは、なにでしょう？

正解は、「おいけろけろ」です。モリアオガエルがいるということで、このキャラクターが誕生しました。



第3問

大池小学校には、みんなが合言葉にして、目標にしている言葉があります。それは、「おいけ」に合わせて、おいけの「お」は、大きく、「い」は生き生きと、「け」はどんな目標があるのでしょうか？

- ①けんかをしない
- ②けじめを持って
- ③計画性を持って

正解は、②けじめを持ってです。大池小学校の子供たちは、どんなことにも目標をもって、自分の力を伸ばそうと頑張っています。また、学校のルールをきちっと守り、みんなで協力する優しい心を大切にしています。

他にも、ケロケロ体操といって、体感を鍛える体操をしたり、ケロケロ班という1年生から6年生までで作られた班で、遊んだりしながら心と体を鍛えています。今日は、皆さんと楽しい時間を過ごせたらいいなと思います。よろしくお願いします。

2. 神戸市立長田小学校（5年生）

1. 学校紹介

「な」長い歴史の学校

長田小学校は、もうすぐ100周年を迎えます。

「が」学校中に響く挨拶の声

長田小学校は、挨拶運動に取り組んでいます。例えば、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と大きな声で言っています。

「た」たったひとつの長田帽

この帽子は、水兵さんをイメージして作られ、姿勢を正しくするために、線が入っています。神戸でかぶっているのは、長田小学校だけです。



2. 校歌（2番合唱）

2番には、港や船に関係ある歌詞がでています。

見渡す港	百船の
かよう文化を	身にうけて
真理の道を	求めつつ
学びの窓を	ひらかなん

本日は、よろしくお願ひします。



3. 南あわじ市立市小学校（5年生）

1. 学校紹介

市小学校は、全校生217人の学校です。南あわじ市のほぼ真ん中にあり、市小学校の周りには田んぼが広がっています。

2. 人形浄瑠璃

淡路の三條（さんじょ）村に人形浄瑠璃の人形芝居が伝わったとされています。撰津西宮の百太夫という人が、市の三條地区にきて、人形あやつりを伝えたと言われています。

今も、三條地区には淡路人形の祖先である道薫坊や百太夫を祀る神社があり、今も正月には奉納するお祭りがあります。

また、郷土文化部があり、人形浄瑠璃の語り師匠から学んでいます。

3. 教育目標

市小学校の教育目標は、「進んで 仲間と 力いっぱい」です。

4. チーム5年生の紹介

①4月から給食お残しゼロ

余っても給食戦隊「食べるんじゃー」が活躍してくれます。



②人を喜ばせることが好き

担任の先生の誕生日をサプライズでお祝いしました。

③とりあえず元気

今日も、みんな元気！

5. 市小チーム5年生をよろしくお願ひします。たくさんの友達を作って帰りたいです。



4. 南あわじ市立賀集小学校（5年生）

1. 学校紹介

賀集小学校は、全校生で182人です。

2. 良いところ

- ①南あわじ市唯一のイオンがあることです。
- ②南あわじ市唯一のマクドナルドがあることです。
- ③賀集小学校を卒業した村上頌樹君が、去年の選抜高校野球にエースとして出場して優勝したことです。

3. 今日は、元気な5年生31名を今日1日よろしくお願ひします。



5. 南あわじ市立倭文小学校（5年生）

1. クイズ

いきなりクイズです。「倭文」この字は何と読むのでしょうか？

- ①わぶん
- ②わぶみ
- ③しとおり

正解は、3番の「しとおり」です。私たちは倭文小学校の5年生です。皆さんは、倭文が淡路島のどの位置にあるか知っていますか。倭文は淡路島の中央の位置にあります。



2. 自慢

- ①一つ目の自慢：倭文（しづ）織

私たちの地域に古代から伝わる方法で織っている布です。

私たちは、高学年から低学年に教えながら、長い間引き継いできました。

- ②二つ目の自慢：ふくちゃん祭り

毎年秋に福祉学習のまとめとして開いている祭りです。この日は、地域の子供たちをたくさんお招きし、ゲームなどをして楽しみます。



③三つ目の自慢：きれいな校舎

教室も廊下も全体に木を使って造られていて、とてもきれいです。いつまでもきれいな校舎でいられるように、私たちはいつもきれいに掃除をしています。

給食の時には、ランチルームに全校生が集まって、みんなで一緒に食べます。

3. まとめ

私たちの倭文小学校は、全校生 90 人で、みんな仲良く元気いっぱい勉強に運動に励んでいます。今日は 1 日よろしくお祈りします。

6. 南あわじ市立西淡志知小学校（5 年生）

僕たちは、南あわじ市立西淡志知小学校からきました。全校生 43 人の小学校です。今から西淡志知小学校の校歌に振りをつけて歌います。

朝日にはゆる 丘の上
飯山のふもと 緑こき
ああ うるわしき 学舎に
いざ いそしまん わか木たち

今日 1 日よろしくお祈りします。



7. 南あわじ市立湊小学校（5 年生）

1. 学校の特徴

私たちの住んでいる町は、自然に触れあうことができるところです。学校の廊下に出ると青く輝く海が見えます。教室の窓からは、緑いっぱいの山が見えます。地域の方々と仲がよく、いろいろな経験をさせてもらっています。こんな町にある私たちの湊小学校を紹介します。

僕たちの、湊小学校は元気で楽しく明るい小学校です。

人数は、とても少ないけど、1 年生から 6 年生までがとても仲が良いのです。体育祭では、いろいろな競技があり、とても盛り上がりました。

2. ダブルタッチ

次に、5 年生のことを発表します。5 年生は、男子 6 人、女子 4 人の合計 10 人です。少ない人数ですけど、毎日元気に過ごしています。僕たちが今頑張っているのはお米作りです。僕たちが最近関心を持っていることは、ダブルタッチです。今から少しやってみます。

（ダブルタッチの実演で終了）



8. 南あわじ市立三原志知小学校（5年生）

1. 学校紹介

皆さん、こんにちは。三原志知小学校の全校生徒は 28 人です。そのうち、5年生は私達 2 人だけです。普段は、6年生と一緒に過ごしています。南あわじ市の志知は、三原志知小学校と西淡志知小学校に分かれています。

私たちの小学校は三原平野の西にあり、近くには吉備国際大学のキャンパスや高速道路の西淡三原インターチェンジがあります。神戸までは車で約 1 時間で着き、とても便利のよいところです。



2. 特徴

- 三原志知は、農業が盛んです。「レタス」や「玉ねぎ」をたくさん作っています。
- 三原志知小学校の自慢できるところは、「和太鼓クラブ（志童）」です。4年前から全校生で取り組んでいます。

兵庫民俗芸能祭（兵庫洲本文化会館）や丹波文化フェスティバルで演奏しました。また、小さな音楽会コンクール（東京FMの会場のよみうり大手町ホール）で演奏して、銅賞を獲得しました。



3. 今後の予定

- 今年の夏休みには、長野県の松本城前で、和太鼓の演奏があり、みんな楽しみにしています。
 - 10月10日から自然学校に行きます。市小学校の皆さんと行くので、とても楽しみにしています。
- これで、三原志知小学校の紹介を終わります。

9. 南あわじ市立八木小学校（5年生）

1. 学校紹介

南あわじ市の中で、特に八木小学校は人数の多い学校です。全校生は、男子 116 人、女子 93 人の 209 人です。1年から6年生のなかで、2年生と4年生は2クラスあります。それと特別支援クラスがあります。

八木小学校の八木という字は、「メエメエ」鳴くヤギではなくて、漢字の「八木」と言います。



2. 運動場の紹介

運動場は、南あわじ市の中で一番広いです。広いので、サッカーや野球の練習をしています。それと、大きなナイター設備があって、夜でもサッカーや野球などの練習ができます。土が乾くのが早いので、すぐに外で遊べます。

3. 参観日

毎年、4年生は参観日に自分たちで作った「玉ねぎ」を売っています。1袋100円ぐらいで売っているのですが、とてもお得です。

来てくれた人に、「玉ねぎスープ」を飲んでもらう活動もしています。その売れたお金で学校に役立つものを買っています。



4. 八木の歴史

八木には、いろいろな歴史があります。昔、八木には「並松」という大きな松の木がありました。そのため、学校には並松ルームという部屋があります。他にも大きな蛇が壊したといわれるじゃすり岩（蛇磨岩）があります。

5. 大久保おどり

大久保おどりは、3年・4年生が、体育会で踊る伝統的なものです。大久保おどりは、全部で3つの種類があります。3年・4年生で踊る「ひげやっこ」、4年生で踊る「傘踊り」、「机おどり」です。使う道具は、「ひげやっこ」は毛槍、「傘踊り」は傘と鎌、「机おどり」は机と刀です。今日は「ひげやっこ」で使う毛槍を持ってきました。4年生は青、3年生はピンクの毛槍で、太鼓や歌に合わせて踊ります。「ひげやっこ」「傘踊り」「机おどり」は、太鼓と歌のリズムが違います。服装も変わるので、踊りにくくなります。それでも頑張っておどりが伝統のつながりであると思います。

これで、八木小学校の紹介を終わります。



【閉会の挨拶】

(公財) 関西交通経済研究センター

常務理事 土井 眞三

皆様、大変お疲れ様でした。ただ今、ご紹介いただきました(公財)関西交通経済研究センターの常務理事をしています土井と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本日、ご参加いただきましたのは、南あわじ市と神戸市のもの凄く元気のよい5年生の皆さんで、本当にびっくりしました。

学校紹介もみんなで一生懸命考えて、本当に上手に学校のお話をしていただき、大変感心したところでございます。

今日を振り返ってみますと、天気が少し心配されましたが、みんなの元気で雨雲もどこかに飛んでいき、非常に楽しく、また、成功裏に終えることができました。

このイベントは、東京の日本財団様の「海と日本プロジェクト」の一環として開催したもので、次世代へ海の恩恵や大切さを引き継いでいくため、海を介して子供たち、或いは人と人とをどうやって繋いでいくかということを実践するという趣旨で実施しております。そういう意味では、南あわじ市の小学生の皆さん、それから神戸市の小学生の皆さんが神戸港のクルーズなどを通じて、海や港の役割りなどを体験しながら楽しく交流できたということは、本当に良かったと思っております。

本日の交流学習会にお力添えをいただきました、実行委員会の神戸港振興協会、神戸市みなと総局、神戸旅客船協会、神戸運輸監理部の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

また、このイベントにご協力いただきました、神戸市教育委員会様、南あわじ市教育委員会様、そして進行役をしていただきましたラジオ関西の皆様、本当にありがとうございました。

そして、児童を引率していただきました各小学校の先生方ありがとうございました。心からお礼申し上げます。

皆様、夏休みはもうすぐです。今日の出来事の中で印象に残ったことなど、何でも結構でございますので、絵手紙に書いていただきまして、先生に渡していただければありがたいと思っております。

今日は、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

6. 準備資料

①募集チラシ

(表面)

日本 海と日本 PROJECT

7/6 開催

神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会

タイムスケジュール

出発	9:30 ~ 10:40	11:50 ~ 12:30	12:30 ~ 13:50	13:50 ~ 14:30	14:40
バス乗車	バス乗車	バス乗車	バス乗車	バス乗車	バス乗車

主催：「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

(裏面)

「海学び舎」あらかると啓発事業
神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会

参加希望の神戸市・南あわじ市小学生と保護者の方を対象に、夏休みの海を満喫し、自然とつながり、海洋学習を体験する機会を設け、この一歩が、将来を築いていくための大切な一歩となることを目指します。また、海に親しむ機会を通じて、海の大切さや、海の安全・防災について学ぶ機会を設け、海の安全・防災意識を高めることも重要な取り組みとして取り組んでまいります。

9:30	あまのこ市内小中学校	神戸市立中央小学校ターミナルのけいほ館(貸物バス)	あまのこ市立小中学校(予定)		
9:30	神戸市立中央小学校	神戸市立中央小学校ターミナルのけいほ館(貸物バス)	西須賀小学校	5年生	6人
9:40	神戸市立中央小学校	神戸市立中央児童館、ロイヤルプリンセス乗り場へ徒歩移動	徳大寺小学校	5年生	11人
9:50	神戸市立中央小学校	神戸港クルーズ	八木小学校	5年生	34人
10:40	神戸市立中央小学校	横濱線、美鈴町駅(台所クラス等)	市川小学校	5年生	20人
11:00	神戸市立中央小学校	オリエンテーション・グループ分け開始	二葉小学校	5年生	2人
11:20	神戸市立中央小学校	学級紹介	賀茂小学校	5年生	31人
11:50	神戸市立中央小学校	昼食(お弁当、お茶も準備車輿より提供します。)	小計		127人
12:30	神戸市立中央小学校	船内見学	神戸市立小中学校(予定)		
13:30	神戸市立中央小学校	海洋学習会「コクタイズ大会」	高砂小学校	5年生	45人
14:40	神戸市立中央小学校	各小学校へ送迎開始(貸物バス)	大谷小学校	5年生	46人
15:00	あまのこ市内小中学校	各校帰	小計		9人
16:00	あまのこ市内小中学校	各校帰			

●参加者へのお願い
- 昼食、見学等で必要な持ち物(お弁当)は各自準備し、お弁当準備車輿にて渡す、お弁当を通して準備まで提供いたします。(バリエーションは異なります。)
- 高砂線へ公開するため、写真、動画等が撮影されることあることを予めご了承ください。

●その他
- 校外学習の一環とします。
- 小中学校単位は希望が尽きたと認めます。(一部の学校を除く)
- 費用は各自負担となります。(交通費、昼食、お弁当等)
- 参加費は、レジャーシートに記入します。
- 当日は、準備終了後に退場します。

②参加者、スタッフ着用帽子

帽子見本

※ピンク色の線はカットラインです。実物には線はありません。

小学生用
(正面白抜き)

スタッフ用
先生用(楕円)

原寸



③当日のしおり（プログラム）

➡ 持ち物

①リュックサック ④筆記用具
 ②水筒 ⑤汗ふきタオル
 ③雨具（カッパなど）

➡ 注意事項

①当日、船酔いのが心配な人は、酔い止め薬を飲んで来て下さい。
 ②博物館では、他の一般の人もいますので、静かに見学しよう。
 ③他の小学校の児童も参加します。積極的に声をかけよう。

➡ お願い

①ロイヤルプリンセス号に乗ったこと、海で船を見たこと、神戸海洋博物館で見たことなど、何でも
 いいので今日一日の中で楽しかったこと、発見したことなどを絵手紙を書いて、担任の先生に出して下さい。



②今日参加してもらった小学生に、かんたんアンケートをお返しいして下さいます。
 答えたら担任の先生に出して下さい。

*絵手紙とアンケート用紙は、学校で担任の先生から配ります。



「海学び会」あらかると啓発事業

神戸市・南あわじ市小学生の 海に親しむ交流会学習会



神戸海洋博物館
 神戸港中突堤（かもめりあ）
 六甲アイランド
 ポリエンターション
 神戸空港

船名：神戸港クルーズ

開催日：平成29年7月6日（木）
 開催地：神戸港&神戸海洋博物館

主催：「海学び会」あらかると啓発事業実行委員会（以下、実行委員会構成メンバー）
 （公社）大阪港振興協会、（一社）神戸港振興協会、近畿旅客船協会、神戸旅客船協会
 近畿内航船員対策協議会、大阪市港務局、神戸市みなと総局、大阪市港区役所、（株）ラジオ関西
 （公財）関西交通経済研究センター

後援
 大阪市教育委員会、神戸市教育委員会、南あわじ市教育委員会
 国土交通省近畿運輸局、国土交通省神戸運輸管理部

各校、神戸港に向けて小学校を出発

【神姫バス①】大池小学校（大池小学校校門前 8:30 発）
 【神姫バス②】長田小学校（学校北側のバス通り 8:30 発）
 【三共バス①】八木小学校（学校正門 7:30 発）→西淡志知小学校（塩の港 7:45 発）
 【三共バス②】市小学校 / 三原志知小学校（中央公民館 7:30 発）→徳文小学校（市民交流センター 7:45 発）
 【三共バス③】賀集小学校（学校正門 7:30 発）→湊小学校（湊公民館 7:45 発）
 *南あわじ市からのバスは、途中湊パークキングエリアでトイレ休憩

9:00 神戸港中突堤（かもめりあ）に到着

9:10 集合写真を撮ろう（ロイヤルプリンセス号前）

9:30 ロイヤルプリンセス号へ乗船・神戸港クルーズへGO



神戸港の「みなとまちづくりマイスター」神戸港のことなら何でも知っている達人です。いっしょに船に乗って、神戸港についていろいろなこととお話ししてもらいます。

海の上から神戸港を見てみよう。荷物を運ぶコンテナ船、人を運ぶフェリー、船をひっぱるタグボートなど、色々な船が海を走り交っているのを見てみよう。

10:40 神戸港中突堤（かもめりあ）に帰港、下船
 →歩いて、神戸海洋博物館ホールへ移動

11:00 オリエンテーション


お昼ごはんの後からは、他の小学校のお友達といっしょに班に分かれて、博物館の見学や交流会学習会をします。ここで、みんなの班分けを発表しますよ。

11:20 9小学校 学校紹介

みんなのわが町、わが学校の自慢を発表しよう!!!

12:00 おひるごはん（お弁当）


12:30 神戸海洋博物館 / カワサキワールドを見学



神戸港や船についていろいろな展示がされています。見て、聞いて、触れてたくさんのが学べます。カワサキワールドには、ほんもの新幹線、ヘリコプター、バイクなどたくさんさんの乗り物が展示しています。実際に乗れるものもありますよ。

船や港について、班ごとに問題をしらべてもらいます。どこに何が書かれているかよく見てみよう。後で行う「交流会学習会」でのクイズ大会のヒントもかくされているので、班の仲間と力を合わせてよく見てみよう。

13:50 交流会学習会



●交流クイズ大会
 神戸港や船について、今日見て、聞いて、触って学んだことからクイズを出します。いっしょになった班のお友達といっしょに答えを考えてみよう。全問正解をめざしてガンバロー!!!

14:35 閉会

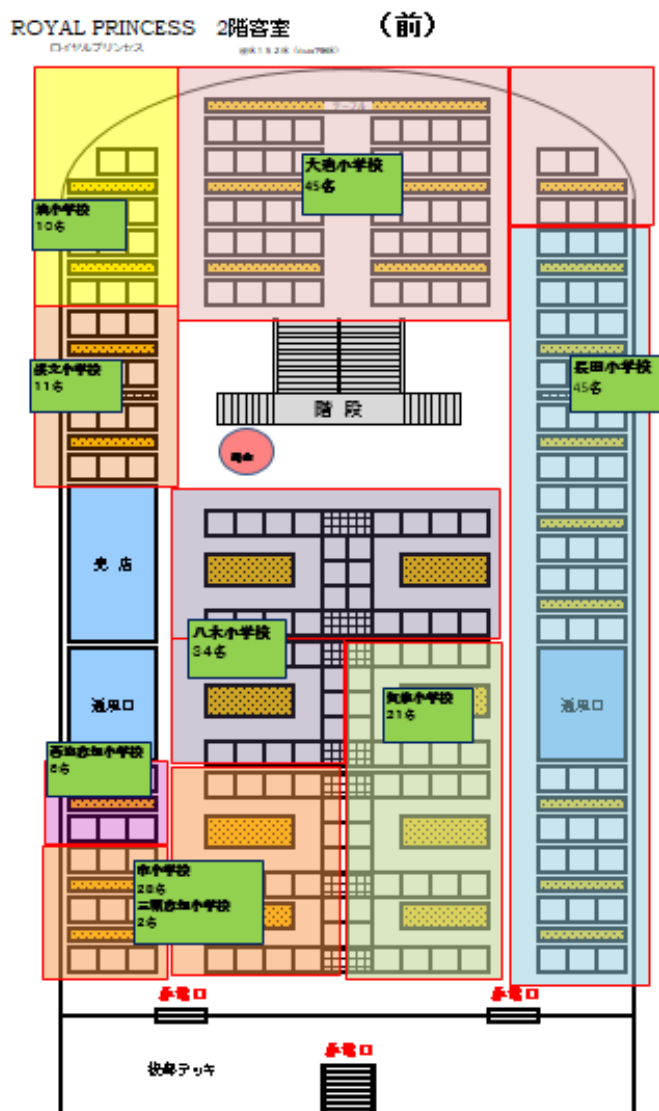
14:40 バスで小学校に向けて出発です

【神姫バス①】大池小学校（大池小学校校門前 15:10 着）
 【神姫バス②】長田小学校（学校北側のバス通り 15:10 着）
 【三共バス①】西淡志知小学校（塩の港 15:50 着）→八木小学校（学校正門 16:05 着）
 【三共バス②】徳文小学校（市民交流センター 16:00 着）→市小学校 / 三原志知小学校（中央公民館 16:15 着）
 【三共バス③】湊小学校（湊公民館 16:00 着）→賀集小学校（学校正門 16:15 着）
 *南あわじ市へのバスは、途中湊パークキングエリアでトイレ休憩

④移動ルート

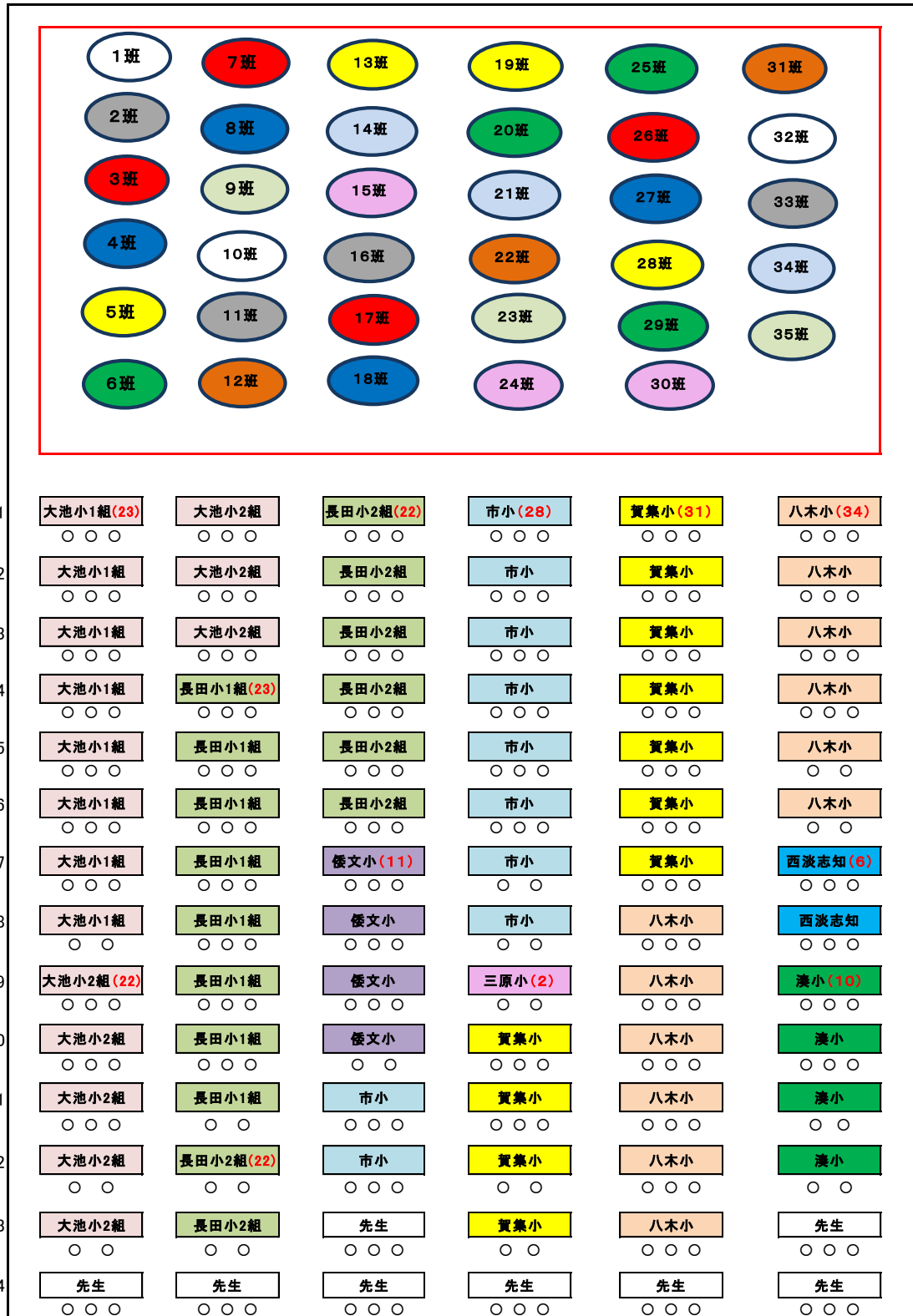


⑤ロイヤルプリンセス配席図



⑥神戸海洋博物館ホール配席図

神戸海洋博物館ホール座席配置図



今の日本の首都は東京ですが、今から約800年前の平安時代に、ここ神戸に「**福祿京**」という名前をつけて都をつつした人がいました。その人の名前は () という名前です。

神戸港は昔から天然の良港として栄えてきましたが、奈良時代には神戸港と呼ばれずに () という名前と呼ばれていました。

右の写真の0系新幹線は、1964年に東京～新大阪間で運転した初めての新幹線列車です。運転最高速度は時速 () km/h でした。

カワサキワールドには、本物の新幹線とヘリコプターが展示してあります。この新幹線とヘリコプターが最大速度で前進したときに速いのは () である。

★★神戸海洋博物館/カワサキワールドの館内案内図★★
自分の班がどの展示エリアから見るのかを確認しよう！

1階館内案内

2階館内案内

神戸市・南あわじ市小学生の 海に親しむ交流会学習会

神戸海洋博物館 / カワサキワールドを見学して、船や海、そして神戸港について学びましょう。問題のヒントが展示されているエリアを裏の館内案内図に示すので、班の仲間と協力して答えを探してみよう！

右の写真の船舶の模型は、1868年1月1日に神戸開港を祝うために来っていた外国の船舶のうちの1隻です。この船の名前は () といいます。

船が安全に航海するために、海の交通ルールがあります。海の交通ルールは、() があります。

2隻の船舶(新設船舶)の一つに灯台があります。日本全体で灯台は () 箇所があります。

西洋では、古くバイキングの時代から船の船先や船尾、船柱、船窓、船窓などに彫刻を飾る習慣がありました。このように船首につけられた彫りの名前を () と呼びます。

神戸海洋博物館内の1階に、右の写真のコンテナ貨物船の模型が展示されています。この模型のコンテナ貨物船は、20フィート(約6m)コンテナを最大で () 個積むことができます。模型をよく見るとヒントが書かれていますよ。

神戸のまちは、世界のいろいろな国のまちと姉妹港や姉妹都市として仲良くしています。アメリカでは () とフィラデルフィアという二つのまちと仲の良い関係を築いています。

船に乗って働く人々のことを船員といいます。外国の貨物船などの場合、船員は船長のもと、()、機関部、無線部、事務部の4つの部に分かれて仕事をしています。

⑧交流学習会 ○×クイズ問題（解答）

神戸市・南あわじ市
小学生の海に親しむ
交流学習会

クイズ大会

150th Anniversary
PORT OF KOBE

第1問

今年神戸港が開港して150年の年である。

○ か ×

解答：○
2017.1.1で開港150年。

第2問

淡路島や神戸市は海に面していますが、その海は日本海である。

○ か ×

解答：×

第3問

今から22年前に「海の日」が出来ましたが、今年の海の日は7月17日である。

○ か ×

解答：○

第4問

淡路島と神戸市を結ぶ明石海峡大橋は、吊り橋としては、ギネス記録認定の世界最長の吊り橋である。

○ か ×

解答：○
全長3911m
支間長1911m

第5問

神戸海洋博物館のあるここは「メリケンパーク」と呼ばれていますが、この「メリケン」は「アメリカン」という言葉がなまって生まれた。

○ か ×

解答：○
当時波止場近くにアメリカ軍基地があったので

第6問

淡路島には「国生み神話」が伝わっていて、伊弉諾尊、伊弉册尊の2神がまず淡路島で「おのころ島」を創造し、その後日本列島を形づくったと言われている。

○ か ×

解答：○
古事記、日本書紀に記されている

第7問

1995年1月17日に「阪神淡路大震災」があり、多くの人々が車で避難しましたが、道路が空いていれば、速く、多くのモノを運べる車で避難することがよい。

○ か ×

解答：×

緊急車両の走行妨害となり、救助活動が滞る原因となる

第8問

今日乗った船「ロイヤルプリンセス号」の最大旅客定員(乗れるお客様の数)は500人である。

○ か ×

解答：○
定員500人

第9問

淡路島には現在鉄道は走っていないが、昔は鉄道が走っていた。

○ か ×

解答：○
1966年まで淡路鉄道という会社が、瀬本と福良を結んでいた。

第10問

神戸ポートタワーは、人間でいうと今年で40才である。(造られてから40年)

○ か ×

解答：×

1963年に出来た。51歳。

第11問

淡路島はたまねぎで有名ですが、たまねぎの収穫時期は、秋である。

○ か ×

解答：×

収穫期は5~6月
たまねぎは夏と秋に収穫される

第12問

神戸港に入港した外航船は、好んで神戸で水の補給して来ましたが、理由は長い航海でも神戸の水は腐らないからである。

○ か ×

解答：○
六甲山系の花崗岩で自然濾過され、濁りにミネラル分を含むため

第13問

淡路島で一番高い山は、南あわじ市にある論嶋羽山であるが、その山は六甲山よりも高い。

○ か ×

解答：×

六甲山931m
論嶋羽山607m

第14問

神戸港の沖には空港があるが、国際線(海外の国へ行く便)の定期便は飛んでいない。

○ か ×

解答：○

Ⅲ. 「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会等開催状況

【 実行委員会 】

- 第1回実行委員会
日時：平成29年 6月 5日（月）10時00分～13時00分
会場：中央電気倶楽部 213号室

- 第2回実行委員会
日時：平成29年11月29日（水）10時00分～13時00分
会場：中央電気倶楽部 213号室

【 分 科 会 】

- 第1回大阪分科会
日時：平成29年 6月23日（金）10時00分
会場：大阪港振興協会会議室

- 第2回大阪分科会
日時：平成29年10月20日（金）10時00分
会場：大阪港振興協会会議室

- 第1回神戸分科会
日時：平成29年 6月19日（月）13時00分
会場：神戸海洋博物館会議室

- 第2回神戸分科会
日時：平成29年10月23日（月）10時00分
会場：神戸海洋博物館会議室

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会規約

【名称】

第1条 本会は、「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

【目的】

第2条 実行委員会は、海洋日本の国づくりや街おこしを担う次世代の小学生、中学生などの若者の皆さんに、海の大切さと海の魅力を知ってもらうことにより、海の恩恵に感謝し、併せて広く海洋についての理解と関心を深めてもらうための必要な事業を行うことを目的とする。

【事業】

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 海洋文化の発展、海に係る歴史等の修得を目的とした学習会及び体験会の実施
 - ・大阪港内、神戸港内及び大阪湾内クルーズの実施
 - ・海洋学習及び環境学習の実施 等
- (2) 海の重要性を啓発出来るリーダーの養成
- (3) 前2号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するため必要な事項に関すること。

【構成員】

第4条 実行委員会は、別表に掲げる団体等によって構成する。なお、新たな構成員への参画は、実行委員会の承認を得るものとする。

【役員】

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) その他にオブザーバーを置くことができる。

【役員職務】

第6条 委員長は、実行委員会の会務を総理し、実行委員会を代表する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

【役員選任】

第7条 実行委員会の委員長は、委員の互選により定める。

2 実行委員会の副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

【任期】

第8条 役員及び委員の任期は、実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員のうち機関、団体等の代表者であるものが当該機関、団体等の代表者でなくなった場合は、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

【会議】

第9条 実行委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 実行委員会の会議は、次に掲げる事項を審議し、議決する。

- (1) 事業に関する開催計画
- (2) 事業に関する予算及び決算
- (3) 実行委員会規約の制定及び改正
- (4) 前3号に掲げるもののほか、事業目的の達成に関する重要な事項

3 実行委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することができない。

4 実行委員会の議事は、出席委員の過半数の同意をもって可決し、可否同数の場合は委員長がこれを決する。

【分科会】

第10条 第3条各号に掲げる事項について、具体的な事業の検討を行い実施するため、必要に応じ実行委員会に分科会を置くことができる。

2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

【事務局】

第11条 実行委員会の事務を処理するため、（公財）関西交通経済研究センター内に事務局を置く。

【解散】

第12条 実行委員会は、その目的が達成されたとき解散する。

【雑則】

第13条 この規約に定めるもののほか、実行委員会に関し必要な事項は、委員長が実行委員会の会議に諮って定める。

附則 この規約は、平成27年6月12日から施行する。

附則 この規約は、平成28年6月14日から施行する。

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会分科会規程

【趣旨】

第1条 「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会規約第10条の規定に基づき分科会の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

【所掌業務】

第2条 分科会は、「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会規約第3条に掲げる事業について具体的な検討を行うものとする。

【構成員】

第3条 分科会は、大阪分科会と神戸分科会とし、分科会員は、実行委員会構成員等より分科会長が指名した者をもって組織する。

【分科会役員】

第4条 分科会に次の役員を置く。

(1) 分科会長 1名

(2) その他にオブザーバーを置くことができる。

2 分科会長は、大阪分科会は実行委員会委員長、神戸分科会は実行委員会副委員長とする。

【分科会役員の職務】

第5条 分科会長は、分科会を代表し、会務を総理する。

【会議】

第6条 分科会は、必要に応じて分科会長が招集し、分科会長がその議長となる。

2 分科会長は、必要に応じて関係者の出席を要請することができる。

3 分科会は、次に掲げる事項を審議し、議決する。

(1) 事業に関する開催計画の作成及び実施

(2) 事業に関する予算及び決算

(3) 前2号に掲げるもののほか、事業目的の達成に関する重要な事項

【事務局】


第7条 分科会の事務を処理するため、(公財)関西交通経済研究センター内に事務局を置く。

【雑則】

第8条 この規程に定めるもののほか、分科会に関し必要な事項は、分科会長が分科会の会議に諮って定める。

附則 この規程は、平成28年6月14日から施行する。

第1回実行委員会（平成29年6月5日（月））



 （平成29年度）

 第1回「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

日 時：平成29年6月5日（月）

 10時00分～13時00分

 場 所：中央電気倶楽部 213号室

議 事 次 第

- 開 会
- 委員長挨拶
- 議 題
 - 「海学び舎」あらかると啓発事業について
 - 企画書、スケジュールについて
 - 事業経費について
 - 今後の委員会等スケジュールについて
- その他
- 開 会

※資料

- 実行委員等名簿、配布図
- 実行委員会規約
- 「海学び舎」あらかると啓発事業企画書
- 参加校一覧
- 当日スケジュール
- 種子色分け一覧
- 事業経費明細
- 募集チラシ（大阪、神戸）

平成29年度
「海学び舎」あらかると啓発事業第1回実行委員会議事録

1. 日 時：平成29年6月5日（月）10時00分～13時00分

 2. 場 所：中央電気倶楽部 213号室

 3. 出席者

○委員 （公社）大阪港振興協会 事務局長 有田正文
 （一社）神戸港振興協会 事務局長 片山昌俊
 近畿旅客船協会 事務局長 青山剛志
 神戸旅客船協会専務理事 山西哲司
 近畿内航船員対策協議会事務局長 香川幹夫
 大阪市港海局営業推進室 開発調整課長 上溝徳郎
 大阪市港海局営業推進室 開発調整課係長 金光尚美
 神戸市みなと総局みなと振興部振興課長 横山和人
 大阪市港区役所教育担当課長 花立 郁世司
 (株)ラジオ関西補成営業局 船尾健太
 (株)神戸新聞社営業本部 福田 幸司
 (公財) 関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三

○オブザーバー
 近畿運輸局海事振興部旅客課長 辻野 晃
 神戸運輸監理部海事振興部旅客課長 岡本英明

○事務局
 (公財) 関西交通経済研究センター 松野、勝山

4. 議事概要

- 委員長、副委員長は下記のとおり選任された。
 - 委員長 （公社）大阪港振興会事務局長 有田正文 氏
 - 副委員長 （一社）神戸港振興会事務局長 片山昌俊 氏
- 企画案及び事業経費について事務局より内容説明し、原案どおり全員一致で承認された。
 - 企画書、スケジュール
 - 事業経費

5. 主な質問・意見等

（質問）

- 昨年は、神戸の海洋博物館でのイベントで、貸切バスは中突堤のどこから乗降していましたが、今年は、中突堤当たりを改修しており位置が変更となるかも知れないので、
 - ポートタワーと博物館の間の駐車場からです。今年は、そこが使えないので、オリエンタルホテル側に移動しましたと聞いています。
 - 学校から港に書いたときは、「かもめりあ」の正面玄関前から降りて、岸壁まで歩いて船に乗り、その後博物館まで歩きました。帰りは博物館から駐車場まで歩いてもらうのですが、今年はポートタワーの南側の駐車場を使わせていただくことを考えています。

（質問）

- 昨年は、記者発表を神戸市政倶楽部と神戸海運記者クラブにしましたが、今年はどうするのですか。
 - 今年も同じく記者発表していただきたいと思います。近畿運輸局、神戸監理部、大阪市港海局、神戸市みなと総局を通じて公表していただきます。
- 募集人数は昨年より増えているが、スタッフは増加の必要がありますか。
 - 昨年同様に委員の方々にお願いすることとなり、昨年同様20人前後で実施したいと考えています。

6. 事務局より追加説明

- 各小学校にお願いしているのは、生徒はナップザック、水筒、傘を持ってきていただくことをお願いしている。
 - 種子については、事前に各学校に送るので、当日、名前を書いてかぶっていただくこととしている。
- 当日の進行について
 - ラジオ関西により、司会、進行をしていただく。
- 事務局の対応
 - 写真は、個人が特定できるものは出さないように言われている。報告書に使用する写真関係は、各学校に一度確認したいと思っている。


7. 事務局より下記提案をしたところ、全員了解していただいた。

- 第2回目の実行委員会の開催について
 - 実行委員会は、基本はこの会議室を考えたが、神戸開催する場合もあるので、ご承知いただきたい。
- 分科会の開催について
 - 分科会は、大阪は、大阪港振興協会の会議室、神戸は、神戸港振興協会の会議室で開催することとする。
- 当日のスタッフについて、皆さんの機嫌でお手伝いいただける人数を後日で連絡していただきたい。
- 各委員で当日配付資料があればお知らせいただきたい。

8. 配付資料

- 実行委員等名簿、配布図
- 実行委員会規約
- 「海学び舎」あらかると啓発事業企画書
- 参加校一覧
- 当日スケジュール
- 事業経費明細
- 募集チラシ（大阪、神戸）
- ラジオ関西企画書

第2回実行委員会（平成29年11月29日（水））



平成29年度（第2回）
 「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

日 時：平成29年11月29日（水）
 10時00分～13時00分
 場 所：中央電気倶楽部 213号室

議 事 次 第

- 開 会
- 委員長挨拶
- 議 題
 - 「海学び舎」あらかると啓発事業について
神戸、大阪での実施報告
 - 今後のスケジュールについて
- その他
- 閉 会

※資料

- 実行委員等名簿、配席図
- 「海学び舎」あらかると啓発事業実施報告書
- 絵手紙集
- 今後のスケジュールについて


平成29年度
 「海学び舎」あらかると啓発事業第2回実行委員会議事録

- 日 時：平成29年11月29日（水）10時00分～13時00分
- 場 所：中央電気倶楽部 213号室
- 出席者
 - 委員
 - （公社）大阪港振興協会 事務局長 有田正文
 - （一社）神戸港振興協会 専務理事 片山昌俊
 - 近畿旅客船協会 事務局長 森木正文
 - 神戸旅客船協会専務理事 山西哲司
 - 近畿内航船員対策協議会事務局長 香川幹夫（欠席）
 - 大阪市港湾局営業推進室 開発調整課長 上海壽郎（代理 兼坂課長代理）
 - 大阪市港湾局営業推進室 開発調整課長 金光尚美
 - 神戸市みなと総局みなと振興部振興課長 横山和人
 - 大阪市港区役所 教育担当課長 花立都世司
 - （株）ラジオ関西編成営業局 飯尾健太
 - （株）神戸新聞社営業本部 福田幸司（欠席）
 - （公財）関西交通経済研究センター常務理事 土井 真三
 - オブザーバー
 - 近畿運輸局海事振興部旅客課長 辻野 晃
 - 神戸運輸監理部海事振興部旅客課長 岡本英明
 - 事務局
 - （公財）関西交通経済研究センター 松野、勝山
- 議事概要
 - 「海学び舎」あらかると啓発事業報告について
大阪イベント、神戸イベントの実施について事務局より報告書に基づき説明し、委員からは持説、意見質問はなかった。
 - 今後のスケジュールについて、資料に基づき説明
意見質問 なし
 - 2018年度（平成30年度）事業について、大阪分科会及び神戸分科会で出された意見を説明
- 主な質問・意見等
（質問）
 - 大阪でのサンタマリアのロープワークとか手旗信号体験は、200人を並ごとに順番に体験したのですか。
 - （事務局）
3校の小学校を学校別、学年、クラス毎の5つのグループに分け、1つの体験を10分間で船内を体験しながら回っていただいた。そして、交代がスムーズにいく

ように、1体験の終了1分前に船内放送をしていただいた。教えるのは乗組員の方をお願いしました。
 また、先導役はスタッフの方にリードしていただいた。

- 次年度事業について委員の意見
 - 神戸市の小学生を対象にしている事業があるが、一定の期間をくぎって、船を用意するから自力できてくださいという制度に変えて存続させることとしている。日本財団から補助が出ればいいのだが、最悪は神戸市の単独事業で行こうかと思っている。これまででは、バス代と船を準備していた。（ロイヤルプリンセスで港めぐり、海洋博物館見学、ポートタワー見学のコースで実施していた。）
- 今後の実行委員会について委員の意見
 - なかなかいい取り組みであるが、3年間実施したということで区切りをつけていいのかもしれない。
 - 続けていけとはなかなかいえない。
 - よい取り組みであるが、協力できる範囲は限られてくる。
 - 神戸市は、海事教育を進めており、将来的にこのような企画があれば協力したい。3年間のプロジェクトチームでということであれば、それでよいと思う。
 - 3年間、貴重な経験を子供たちに与えていただいた。港区では、校外学習の助成を各学校にしている。その中で、海遊館の見学と大阪プールのアイススケートという2つのメニューがあり、海遊館の見学が1名につき450円助成という形になっている。サンタマリアが450円であれば、各学校に選択していただくことも可能と考えている。予算要求もしていないので、いまのところは厳しい状況。続けたい気持ちはある。
 - よいイベントと思う。もし、存続させるのであれば、民間から協賛をつかってやるという方法はあると思う。そうすればこの場とは違う組織になっていくのかもしれない。この組織は一旦ここで区切りをつけたらいいのかもしれない。
- 結論
 - 3か年の事業が終わったということで、ここで実行委員会を閉めることで、委員全員了承となった。

第1回大阪分科会（平成29年 6月23日（金））



「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会
第1回大阪分科会

日 時：平成29年6月23日（金）
10時00分～
場 所：大阪港振興協会会議室

議 事 次 第


1. 開 会。
2. 分科会長挨拶。
3. 議 題。
 - (1) 大阪港クルーズ等タイムスケジュールの確認。
 - (2) 現在の準備状況報告。
 - (3) スタッフ等役割分担について。
 - (4) 荒天等の対応について。
 - (5) その他。

平成29年度 「海学び舎」あらかると啓発事業
第1回大阪分科会議事録

1. 日 時：平成29年6月23日（金）10時00分～12時00分。
2. 場 所：(公社)大阪港振興協会 会議室 第一大阪港ビル7階。
3. 出席者。
 - 委員。
 - (公社)大阪港振興協会 事務局長 有田 正文、佐古次長。
 - 近畿内航船員対策協議会 事務局長 香川 幹夫。
 - 大阪市港湾局営業推進室開発調整課 金光 尚英、増山 雅也。
 - (株)ラジオ関西 編成営業局次長 青木 達也。
 - (株)神戸新聞社営業本部 松本 敦法。
 - 大阪水上バス㈱ 取締役 大江 幸弘。
 - 近畿運輸局海事振興部旅客課長補佐 寺地 健二。
 - (公財)関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三。
 - 事務局。
 - (公財)関西交通経済研究センター 松野、鏡山。
4. 議事概要。
 - (1) 6月29日（木）実施予定のタイムスケジュールを確認。
 - ①当日の行程の確認。
 - ・当日の行動は、各小学校別クラス別に行動し、担任が引率する。
 - ・天保山船客ターミナル、海遊館ホールの座席配置を説明。
 - ・サンタマリア見学要領の説明。
 - ②各小学校の出発及び帰り時間を確認。
 - ・各小学校とも午前8時30分出発（弁天小と港精小はバス、築港小は徒歩）。
 - ・海遊館見学後、各小学校は学校に帰り、学校で解散する。
 - ③各小学校の参加人数の確認。
 - ④その他をとおして、計画通りのタイムスケジュールに対し段意見はなかった。
 - (2) 6月29日現在の準備状況の説明。
 - ①各小学校の参加者の帽子の数と色分けを確認。
 - ・港精 小学校5年生：黒色
 - ・築港小学校5年1組：青色、2組：白色、6年生：水色
 - ・弁天小学校5年1組：黄色、2組：緑色、3組：赤色
 - ②当日の配付資料の確認 等。
 - (3) スタッフの役割分担と各委員関係のスタッフ人数を確認。
 - ・スタッフ20名確定。

- (4) 荒天時の対応。
 - ・前日、6月28日の午前中に事務局より各小学校及びスタッフに連絡する。
 - ・実施を決定した場合で、船が運航できない場合は、海洋学習、環境学習、海遊館見学は実施する。
 - ・中止した場合は、各小学校のスケジュールもあり順延ではなく中止とする。
- (5) 船酔い、ケガなど具合が悪くなった小学生のため、看護師1名配置する。

第2回大阪分科会（平成29年10月20日（金））



(第2回)
 「海学び舎」あらかると啓発事業大阪分科会
 日 時：平成29年10月20日（金） 10時00分～
 場 所：(公社)大阪港振興協会 会議室 第一大阪港ビル7階

議 事 次 第

- 開 会
- 委員長挨拶
- 議 題
 - 「海・船のお話会と海の環境学習や体験型見学会」実施報告
 - 今後のスケジュールについて
- その他
- 閉 会

※資料

- 分科会名簿
- 「海・船のお話会と海の環境学習や体験型見学会」実施報告
- 給手紙集
- 今後のスケジュール

平成29年度
「海学び舎」あらかると啓発事業第2回大阪分科会議事録

- 日 時：平成29年10月20日（金）10時00分～12時00分
- 場 所：(公社)大阪港振興協会 会議室 第一大阪港ビル7階
- 出席者
 - 委員
 - 大阪市立港橋小学校 教頭 小川 歩
 - 大阪市立弁天小学校 教頭 片岡 幹雄
 - (公社)大阪港振興協会 事務局次長 佐古 武志
 - 近畿旅客船協会 事務局長 森木 正文
 - 近畿内航船員対策協議会 事務局長 香川 幹夫
 - 大阪市港湾局営業推進室開発調整課 金光 尚美
 - 大阪市港区役所教育担当課長 花立 都世司
 - (株)ラジオ関西 編成営業局 榎尾 健太
 - (株)神戸新聞社営業本部 福田 幸司
 - 大阪水上バス㈱ 取締役 大江 幸弘
 - 近畿運輸局海事振興部旅客課長 辻野 晃
 - (公財)関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三
 - 事務局
 - (公財)関西交通経済研究センター 松野、鏑山
- 議事概要
 - 6月29日（木）実施した「海・船のお話会と海の環境学習や体験型見学会」の報告を事務局より行った。
 - 海遊館関係の給手紙を各小学校に提示依頼したところ、了解を得た。また、サンタマリア船内での提示についても了解を得た。
 - 今年度、今後の事業スケジュールを説明したところ、特段の意見はなかった。
 - 次年度事業の在り方について
 - 来年度の実施について質問があり、(事務局)日本財団の助成事業が今年で3年計画の3年目にあたり、次年度以降の日本財団の方針が未定であるため、いまのところは実施できるかわからない状況。
 - 港区の支援制度（港区役所）
 - 10月は予算要求の時期、今決まれば予算要求できる。
 - 海遊館の入館料各校（11校）1学年分（学校で決める）補助している。1人450円支援しているので、それを活用はできる。
 - スケート教室など1学校1学年分支援している。
 - ロボットプログラミング、自然観察なども支援している。

- 実行委員会あてに費用を入れることはできない。
- 講師謝礼とか備前料などの支出はできる 分担金は難しい。

③大阪市の支援について

- 施設の利用などは協力できる。
- 天保山船客ターミナルが、改修中になるかもわからない。

④水上バス

- 割引はできる。人件費が出れば可能であり、出来るだけ協力したい。
- 今回は、小学生は800円であるが、割引をさせていただいている。相談には乗れると思われる。

⑤委員より次年度案としての意見

- 海技教育機構の船長出張講座していただき、日程の調整が必要であるが、天保山船客ターミナルで船長の話（港湾や船の映像の入れて）を聞く、そして、児童の質問にも答えられるような講座を行い、その後、船の中を見学し、次に、サンタマリアの乗船であれば費用は抑えられるのではと思う。
- 問題があり、寄港要請すると高くつくので、期航路に入れてもらうことになる。

⑥事務局

- これまでの形態での実施は難しいのではと考える。しかし、海をよく知ってもらうには大切である。
- 方法としては、海に関わり合いのある方が集まり、協力してやっていくことはできるのではと考える。
- 日本財団が継続となれば、これまでの経験を踏まえて可能かと思うが、今のところでははっきりしない。

⑦委員より


- 小学校が継続的にこのような体験をしていくことは大きな意義があり、ます。そういう意味では継続していく方向で模索していくことが必要。
- 貸切バスではなく、現地までの交通費は学校で持つことは可能。弁当は持参、港区の事業として支援いただくなどをすれば、選択肢が広がる。

⑧事務局

- 時間が短くても、内容が薄くても出来ることを考えるとして、イメージをつくり、予算の協力が得られるのかなどを考えてみることにする方向としたいが、いずれにしても日本財団の方向性が出てから考えることとした。

行上

第1回神戸分科会（平成29年 6月19日（月））



「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

第1回神戸分科会

日 時：平成29年6月19日（月）
13時00分～

場 所：神戸港振興協会会議室

議 事 次 第


- 開 会
- 分科会長挨拶
- 議 題
 - 神戸港クルーズ等タイムスケジュールの確認
 - 現在の準備状況報告
 - スタッフ等役割分担について
 - 荒天等の対応について
 - その他

平成29年度「海学び舎」あらかると啓発事業
第1回神戸分科会議事録

- 日 時：平成29年6月19日（月）13時00分～
- 場 所：神戸港振興協会会議室
- 出席者
 - 委員
 - （一社）神戸港振興協会 事務局長 片山 昌俊
 - （一社）神戸港振興協会 参事 森田 潔
 - （一社）神戸港振興協会 主査 広岡 茂裕
 - 神戸旅客船協会専務理事 山西 哲司
 - 神戸市みなと税関みなと振興部振興課長 横山 和人
 - 神戸市みなと税関みなと振興部振興課 木林 依季佳
 - 南あわじ市教育委員会学校教育課補佐 居神 さゆり
 - （株）ラジオ関西 構成営業局 尾崎 健太
 - （株）神戸新聞社営業本部 福田 幸司
 - 神戸バイククルーズ営業部 平嶋 隆一
 - 神戸市立大池小学校 校長 中本 綱志
 - 神戸市立長田小学校 校長 中川 寿夫
 - 神戸運輸監理部海事振興部旅客課長 岡本 英明
 - （公財）関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三
 - 事務局
 - （公財）関西交通経済研究センター 松野、勝山
- 議事概要
 - 7月6日（木）実施予定のタイムスケジュールを確認
 - 当日の行程の確認
 - 当日の行動は、午前の神戸港クルーズは各小学校別に行動し、担任が引率する。
 - 午後の交流学習会は、9校混合の班で行動する。（1班5名で35班）
 - 各小学校の出發及び帰りの時間を確認
 - （1号車）八木小学校は7時30分に小学校よりバスで出發、西淡志知小学校は7時45分にバスターミナル（陸の港）より出發
 - （2号車）市小学校と三原志知小学校は7時30分中央公民館前より、徳文小学校は7時45分に市民交流センターより出發
 - （3号車）真裏小学校は7時30分に小学校よりバスで出發、瀧小学校は7時45分に港公民館より出發
 - 大池小学校と長田小学校は、8時30分小学校よりバスで出發
 - 各小学校の参加人数の確認
 - その他をとおして、計画通りのタイムスケジュールに対し段意見はなかった。

- 6月19日現在の準備状況の説明。
 - 各小学校の参加者の帽子的数と色分けを確認
 - 9校混合で5名1班で35班作成し、班ごとに色分けした帽子を着用する。
 - 各小学校で、名刺サイズの大きさで参加者の学校名と氏名（ひらがなで苗字のみ）を作成し、当日胸につける。（名刺ケースは事務局で準備）
 - 当日の配付資料の依頼（250セット準備）
- スタッフの役割分担と各委員関係のスタッフ人数を確認。
 - スタッフ約15名
- 荒天時の対応
 - 前日、7月5日の午前中に事務局より南あわじ市教育委員会及び各小学校及びスタッフに連絡する。
 - 実施を決定した場合、船が運航できない場合は、海洋博物館の見学と交流学習会は実施する。
 - 中止した場合は、各小学校のスケジュールもあり順延ではなく中止とする。
- バス酔い、船酔い、ケガなど具合が悪くなった小学生のため、看護師1名配置する。

第2回神戸分科会（平成29年10月23日（月））



(第2回)
 「海学び舎」あらかると啓発事業神戸分科会

日 時：平成29年10月23日（月）
 10時00分～

場 所：（一社）神戸港振興協会 会議室

議 事 次 第

1. 開 会。
2. 委員長挨拶。
3. 議 題。
 - (1) 「神戸市、南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会」実施報告
 - (2) 今後のスケジュールについて。
4. その他。
5. 閉 会。

※資料 ・分科会名簿
 ・「神戸市、南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会」実施報告。
 ・給手紙集
 ・今後のスケジュール等。

平成29年度 「海学び舎」あらかると啓発事業
 第2回神戸分科会議事録

1. 日 時：平成29年10月23日（月）10時00分～12時00分。
2. 場 所：神戸港振興協会会議室。
3. 出席者

○委員 （一社）神戸港振興協会 専務理事 神戸市立大池小学校校長 神戸旅客船協会専務理事 南あわじ市教育委員会学校教育課長 （株）ラジオ関西 編成営業局 （株）神戸新聞社営業本部 神戸運輸監理部海事振興部旅客課長 （公財）関西交通経済研究センター常務理事 事務局 （公財）関西交通経済研究センター （公財）関西交通経済研究センター	専務理事 片山 昌俊 中本 綱志 山西 哲司 前谷 光彦 船尾 隆太 福田 幸司 岡本 英明 土井 眞三 松野 佳幸 勝山 麗久
--	---
4. 議事概要
 - (1) 7月6日（木）実施した「神戸市、南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会」の報告を事務局より行ったところ次の感想や意見をいただいた。

（意見・感想）

 - ①大池小学校
 - ・神戸港巡りでは港の様子など解説していただいたりして、ありがたいと思っている。
 - ・子供たちにとって良いと思ったのは、他の学校の同学年の子供で交流というのはありそうでなかなかないので、子供たちがうれあうということは、ちょっとした緊張感もありながら、仲良くして一緒に海洋博物館を回ったのは楽しかったようで、とてもよい体験をさせていただいたと思った。
 - ・小学校として、費用面で感謝している。
 - ②南あわじ市
 - ・小学生としても神戸の小学生と交流できるということが、すごく楽しみにしていて、口コミもあり、今回、7校の参加となった。
 - ・感想
 - ・クルーズでは、港の勉強ができた。
 - ・クルーズ中は説明の放送が甲板上でも内容が聞こえてよかった。
 - ・交流会では、ロケケイズの時のプロジェクターの位置を少し前にすればよかったのでは。（スクリーンに見る影が映っていたため）
 - ・食事で、弁当の量がなくて、残してしまった子がいた。
 - ・博物館は楽しく見学していたが。
 - ・この事業の実施時期では、6月に実施が望ましい。
 - ・審議師があらわれたので、安心して参加できた。

- (2) 今年度今後のスケジュールを説明したところ、特段の意見はなかった。
- (3) お願い事項
 - ・11月10日までに、各学校紹介の修正をいただくようお願いした。
 - ・南あわじ市については、教育委員会で取りまとめでいただくこととした。
- (4) 次年度以降について
 - ・事務局より
 - この事業は、3か年事業ということであり、今回で3年目であります。次年度以降は、こういった形で実施は難しいかもわからない。大阪は規模縮小で実施したらどうかという意見がありました。
 - 神戸についても、皆さんの意見をいただきながらどういふふうを考えて行くかということを確認したいと思っています。
 - 次年度以降については、日本財団の方向により考えていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

以上。

IV. マスメディア記事

神戸新聞（平成29年7月7日付 朝刊）

港をクルーズし交流

神戸市と南あわじ市の子どもたちが、海に親しみながら交流を深めるイベント「海と日本プロジェクト」が6日、神戸港で開かれた。両市の小学5年生約210人が参加し、神戸港クルーズやクイズ大会などを通じて交流した。

神戸市立長田小学校の井上裕月君(11)は「蒸し暑いけど、潮風が気持ちよかったです」。南あわじ市立賀集小学校の瀧川遥稀君(10)は「神戸の子と協力してクイズに答えられてうれしい」と話していた。

（大橋凜太郎）

神戸港クルーズを楽しむ児童たち。神戸港沖からコンテナ船や大型クレーンを見学。神戸空港沖では飛行機の離着陸に遭遇し、響き渡るエンジン音に歓声を上げていた。

帰港後は、班ごとに分かれて神戸海洋博物館を訪れ、〇×クイズに挑戦した。「神戸空港には国際線の定期便はない？」などの問題に、知恵を出し合いながら答えた。

日本海事新聞（平成29年7月13日）

プリンセスに興奮!

神戸港で小学生ら体験型学習会

関西地域の小学生に海洋への理解と関心を深めてもらう事業を展開している「海学び舎」が、7月13日、神戸市、南あわじ市の小学生の海に親しむ交流学習会を開催し、両市の小学生212人と教職員が参加した。この学習会は、日本財団が取り組む「海と日本プロジェクト2017」の助成を受けたもの。

当日は、午前中に観光船「ロイヤルプリンセス」(414総トン、神戸ベイクルーズ運航)に乗船。船内では、神戸港振興協会の森田謙参事が、船舶や港湾施設などを説明した。船内からは、ポートアイランドや六甲アイランドに設置されたカントリークレーンなどを見学。行き交うさまざまな船に歓声を上げていた。

午後には、神戸海洋博物館(カワサキワールド併設)の展示品についての問題を解きながら、同博物館を見学。開港150年を迎えた神戸港の歴史などについてクイズ大会が開かれた。

閉会の際には、事務局(関西交通経済研究センター)担当から子供らに、「今日一日の感想などを絵手紙にして送ってくださ」と呼び掛けがあった。絵手紙は、同博物館などに展示される予定。

乗船前に記念撮影する小学生ら

神戸市、南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会

「海学び舎」あらゆると実行委

小学生が学習見学会

大阪・神戸港

関西交通経済研究センターはこのほど、大阪港と神戸港で小学生を対象に船と海に関する学習見学会を開催した。

大阪では6月29日、大阪市港区の小学校3校の5、6年生196人が参加。遊覧船「サンタマリア」でロープワーク、救命胴衣の着用体験、手旗信号など体験した後、同船で大阪港内をクルーズ体験した。近畿内航船員対策協議会の上窪良

和会長が海や船、船員の仕事を紹介。水族館「海遊館」でレッドデータリスト掲載の絶滅危惧種などの説明があった。

神戸では7月6日、神戸市2校、南あわじ市7校の小学生5年生208人が参加。遊覧船「ロイヤルプリンセス」に乗船して、神戸港を見学した。神戸港振興協会の森田潔参事が港湾施設やその役割など説明した。神戸海洋博物館やカワサキワールドを見学し、海運や造船業について学んだ。